

令和7年度 言語文化 I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		2年	
年間目標	<p>(知及技) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(思判表力) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(学・人) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>		
学期	時数	題材名	
1学期	24	(現代文・随筆) さくらさくらさくら	
		(現代文・随筆) 美しいということ	
		(古文入門) 古文に親しむ	
		(古文入門) 児のそら寝『宇治拾遺物語』	
		(古文入門) 絵仏師良秀『宇治拾遺物語』	
		(漢文入門) 訓読の基本	
		(漢文入門) 故事成語一三編	
		(現代文・小説) とんかつ	
2学期	28	(古文・随筆) 徒然草	
		(古文・随筆) 枕草子	
		(現代文・詩歌) 柳あをめる	
		(現代文・詩歌) 雪のふかさを	
		(古文・詩歌) 折々のうた	
		(漢文・漢詩) 背句と律詩一七首	
		(現代文・小説) 羅生門	
		(古文・物語) 伊勢物語	
		(古文・物語) 平家物語	
		(漢文・論語) 論語一八章	
3学期	18	(現代文・小説) 夢十夜	
		(現代文・小説) デューク	
		(古文・紀行) 奥の細道	
		(漢文・史話) 史話一三編	

令和7年度 歴史総合 I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者
70		2年		
年間目標	<p>(知及技) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と日本の相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解する。</p> <p>(思判表力) 近現代の歴史の意義や特色などを現在のつながりなどに着目して考察したり、課題解決を視野に構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(学・人) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面・多角的な考察や深い理解を通して、日本国民としての自覚や我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>			
学期	時数	章	題材名	
1	24	歴史の扉	歴史と私たち 日本と洋菓子	
			歴史の特質と資料 台湾における砂糖の生産	
		近代化への問い	交通と貿易・産業と人口・権利意識と政治参加や国民の義務・学校教育・労働と家族・移民	
		第1章 結びつく世界	アジア諸地域の繁栄と日本	
			ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	
		第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	ヨーロッパ経済の動向と産業革命	
			アメリカ独立革命とフランス革命	
			19世紀前半のヨーロッパ	
			19世紀後半のヨーロッパ	
			19世紀のアメリカ大陸	
			西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化	
		第3章 明治維新と日本の立憲体制	中国の開発と日本の開国	
			明治維新と諸改革	
			明治初期の対外関係	
		第4章 帝国主義の展開とアジア	自由民権運動と立憲体制	
条約改正と日清戦争				
日本の産業革命と教育の普及				
帝国主義と列強の展開				
世界分割と列強の対立				
2	28	近代化と現代的な諸課題	自由・制限/開発・保全	
		国際秩序の変化や大衆化への問い	国際関係の緊密化/アメリカが衆国とソ連の台頭/植民地の独立/大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化/生活様式の変化	
		第5章 第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦とロシア革命	
			国際平和と安全保障	
			アジア・アフリカ地域の民族運動	
			大衆消費社会と市民生活の変容	
			社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	
		第6章 経済危機と第二次世界大戦	世界恐慌の発生と各国の反応	
			ファシズムの台頭	

3	18		日本の恐慌と満州事変
			日中戦争と国内外の動き
			第二次世界大戦と太平洋戦争
		第7章 戦後の国際秩序と日本の改革	新たな国際秩序と冷戦の始まり
			アジア諸地域の独立
			占領下の日本と民主化
			占領政策の転換と日本の独立
	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	対立・協調/平等・格差/統合・分化	
	グローバル化への問い	冷戦と国際関係/人と資本の移動/高度情報通信/食料と人口/資源・エネルギーと地球環境/感染症/多様な人々の共存	
		集団防衛体制と核開発	
		米ソ両大国と平和共存	
		西ヨーロッパの経済復興	
		第三世界の連携と試練	
		55年体制の成立	
		日本の高度経済成長	
		核戦争の恐怖から軍縮へ	
		冷戦構造のゆらぎ	
	世界経済の転換		
	アジア諸地域の経済発展と市場開放		
	冷戦の終結と国際情勢		
	ソ連の崩壊と経済のグローバル化		
	開発途上国の民主化と独裁政権の動揺		
	地域紛争の激化		
	国際社会のなかの日本		
	現代世界の諸課題		
	現代日本の諸課題		
	現代的な課題の形成と展望	人口減少社会の到来/原子力発電と自然災害	
年間総時数		70時間	

## 令和7年度 数学Ⅱ I 課程A 年間指導計画

配当時数	生徒について		担当者
70	2年		
年間目標	<p>(知及技) いろいろな式, 図形と方程式, 指数関数・対数関数, 三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 数の範囲や式の性質に着目し, 等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力, 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し, 方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり, 図形の性質を論理的に考察したりする力, 関数関係に着目し, 事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力, 関数の局所的な変化に着目し, 事象を数学的に考察したり, 問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(学・人) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
学期	時数	章	題材名
1 学 期		第 1 章  式 と 計 算	1. 3次式の展開と因数分解
			2. 二項定理
			3. 多項式の割り算
			4. 分数式とその計算
			5. 恒等式
			6. 等式の証明
			7. 不等式の証明
2 学 期		第 2 章  と 方 程 式  複 素 数	1. 複素数とその計算
			2. 2次方程式の解
			3. 解と係数の関係
			4. 剰余の定理と因数定理
			5. 高次方程式
		第 3 章  点 と 直 線	1. 直線上の点
			2. 平面上の点
			3. 直線の方程式
			4. 2直線の関係
			5. 円の方程式
3 学 期			6. 円と直線
			7. 2つの円
			8. 軌跡と方程式
			9. 不等式の表す領域

## 令和7年度 数学A I 課程A 年間指導計画

配当時数	生徒について			担当者
70	2年			
年間目標	<p>(知及技) 図形の性質, 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と人間の活動の関係について認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 図形の構成要素間関係などに着目し, 図形の性質を見だし, 論理的に考察する力, 不確実な事象に着目し, 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力, 数学と人間の活動との関わりに着目し, 事象に数学の構造を見だし, 数理的に考察する力を養う。</p> <p>(学・人) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>			
学期	時数	章	題材名	
1 学 期		第1章 場合の数と確率	1. 集合の要素の個数	
			2. 場合の数	
			3. 順列	
			4. 組合せ	
			5. 事象と確率	
			6. 確率の基本性質	
			7. 独立な試行と確率	
			8. 条件付き確率	
			9. 期待値	
2 学 期		第2章 図形の性質	1. 三角形の辺の比	
			2. 三角形の外心・内心・重心	
			3. チェバの定理・メネラウスの定理	
			4. 円に内接する四角形	
			5. 円と直線	
			6. 2つの円	
			7. 作図	
			8. 直線と平面	
			9. 空間図形と多面体	

3 学 期	第3章 数学と人間の活動	1. 約数と倍数
		2. 素数と素因数分解
		3. 最大公約数・最小公倍数
		4. 整数の割り算
		5. ユークリッドの互除法
		6. 1次不定方程式
		7. 記数法
		8. 座標の考え方
		9. ゲーム・パズルの中の数学

令和7年度 地学基礎 I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		2年	
年間目標	<p>(知及技) 日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、観察，実験などを行うことを通して，基本的な概念や原理・法則を理解する。</p> <p>(思判表力) 探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法が習得できている。</p> <p>(学・人) 主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度が養われている。その際，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度が養われている。</p>		
学期	時数	題材名	
1 学期	24	・地球の形と大きさ	
		・地球内部の構成	
		・プレートの運動	
		・火山と地震	
2 学期	28	・地層と化石	
		・古生物の変遷と地球環境	
		・大気構造と運動	
		・大気の大循環	
		・海洋の構造と海水の運動	
		・日本の四季の気象と気候	
3 学期	18	・太陽系の中の地球	
		・太陽とその進化	
		・宇宙のすがた	
		・地球の環境	



		開すること。	などを守り、仲間と協力することができる。		
3 学 期	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</li> <li>・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</li> </ul>	<p>【知識・技能】陸上競技の楽しさや喜びを味わうことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】陸上競技について自分の課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力】陸上競技のきまりやルール、マナーなどを守って安全に運動することができる。</p> <p>【知識・技能】球技の楽しさや喜びを味わい、簡易化されたゲームを行うことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】球技についての自他の課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力】きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技</li> <li>・球技</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離走、持久走</li> <li>・フロアバレーボール</li> <li>・風船バレー</li> </ul>

令和7年度 音楽表現 I 課程A 年間指導計画

配当時数	生徒について		担当者
70	2年、3年		
年間目標	<p>(知及技) 音楽の基本的な理論を理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴き、自分の考えや感じたことを他者へ伝える力を身に付ける。</p> <p>(学・人) 協働して音楽を創り上げる活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、多様な価値観を尊重し音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>		
学期	時数	題材名	
1学期	24	自分にとっての音楽の存在	
		楽器の構造や音色、奏法を理解し、音楽表現を工夫しながらアンサンブル活動をしよう	
		曲に対する自己のイメージを豊かにし、歌唱表現しよう	
		伝統芸能の文化や歴史を理解し、そのよさや美しさを味わって聴こう	
2学期	28	様々な表現形態による歌唱表現について知り、他者と調和して表現しよう	
		様々な国の言語の特性や語感の違いを生かして歌唱表現を創意工夫しよう	
		オーケストラの響きや楽曲の構成を意識し、表現上の効果を味わって聴こう	
		物語と音楽との関わりに注目し、総合芸術における音楽の魅力を知ろう	
		音楽の役割(福祉、エンタメ、セラピー等)について知り、自分の音楽の生かし方を考えよう	
3学期	18	旋律に合う和音を選び、表現活動を工夫しよう	
		音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施しよう	
		自分にとっての音楽の存在は変容したか考えよう	

令和7年度 美術表現 I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		2年、3年			
年間目標		(知及技) 対象や事象を造形的な視点で理解を深め、意図に応じ表現を創意工夫し、創造的に表す。 (思判表力) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表現について考え、発想し構想し、見方や感じ方を深める。 (学・人) 主体的に創造活動に取り組み、美術を通して、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	展示まで意識して表現することができる	【知・技】鑑賞者について考えることができる。 【思・判・表】鑑賞者や展示場所までも含めた表現を行うことができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	JIZOING	・地蔵の制作 ・地蔵を配置する
2学期	30	焼きもの	【知・技】土の特性を理解することができたか。 【思・判・表】これまでの器について理解し、独創的なカタチを表現することができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	手びねり 独創的なカタチ	・主題を生成し、自分を表現する
3学期	12	自分の作品の意図に合った展示を行う。	【知・技】タイトルやキャプションなど、展示をして他者に伝える方法を理解する。 【思・判・表】他者視点で自分の表現物を伝えようとすることができたか。 【主学】自分の作品を客観的に捉え展示ができたか。	展示	・制作したものの展示
	6	いつか、誰かに届けるメッセージという題材から意図を持って言葉を紡ぐことができる	【知・技】言葉の技術を高めることができる。 【思・判・表】誰かに届けるメッセージ、誰かに届けて欲しいメッセージというテーマから作品を考えることができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	誰かへのメッセージ	・メッセージ考えを校舎に配置する

令和7年度 英語コミュニケーションⅡ I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		2年	
年間目標	<p>(知及技) 語彙や表現、文法などを習得し、適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 目的や場面、状況などに応じて、基本的な語彙や文法の知識を活用して、適切に表現したり伝え合ったりする力を養う。</p> <p>(学・人) 英語の背景にある多様な文化や考え方に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に円滑なコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>		
学期	時数	題材名	
1 学 期	24	GET READY 1～4	
		Lesson 1 Okinawa	
		Lesson 2 The History of Japanese Food	
2 学 期	28	Lesson 3 Volunteer Work	
		Lesson 4 Gacha-gacha	
		Lesson 5 Interesting Aquariums	
3 学 期	18	Lesson 6 The Relay of Ahmed's Life	
		COMMUNICATE+ 1	

令和7年度 家庭総合 I 課程A 年間指導計画

配当時数	生徒について		担当者
70	2年		
年間目標	<p>(知及技) 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。</p> <p>(学・人) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとする。ともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</p>		
学期	時数	題材名	
1 学期	24	超高齢社会を生きる、人生の中で高齢期をとらえる、高齢期の生活	
		高齢社会を支える、充実した高齢期へ	
		社会保障制度と社会連帯、人の多様性と社会参加	
		私たちと衣生活、被服の機能、被服の選び方	
		被服の素材、選択方法と表示、洗濯のしくみ、被服の手入れと保管	
		衣文化の継承と創造、時速可能な衣生活	
2 学期	28	私たちの被服ができるまで、体型と採寸、被服製作の基本	
		被服実習 ハーフパンツ	
3 学期	18	人生とお金、収入と支出のバランス、将来の経済生活を考える	
		契約とは、消費者問題はなぜ起こるのか	
		多様化する支払い方法とリスク防止、消費者の自立と行政の支援	
		消費生活と持続可能な社会、消費者市民社会をめざして	

## 令和7年度 情報Ⅰ I課程A 年間指導計画

配当時数	生徒について	担当者
70	2年	
年間目標	<p>(知及技) (1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。</p> <p>(思判表力) (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う</p> <p>(学・人) (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う</p>	
学期	時数	題材名
1 学期	24	1 情報社会
		2 情報社会の法規と権利
		3 情報技術が築く新しい社会
		4 メディアとコミュニケーション
2 学期	28	1 情報デザイン
		2 情報デザインの実践
		3 情報システムの構成
		4 情報のデジタル化
		5 情報通信ネットワーク
		6 情報セキュリティ
3 学期	18	1 問題解決
		2 データの活用
		3 モデル化
		4 シミュレーション
		5 プログラミングの方法
		6 プログラミングの実践

令和7年度 産業社会と人間 I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		2年			
年間目標		(知及技) 社会生活や職業選択に必要な知識を理解するとともに、関連する基本的な技能を身に付ける。 (思判表力) 社会に関する課題に関心を持ち、自らの意見や考えを表現し他者へ伝える力を身に付ける。 (学・人) 自己の充実を目指し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度の育成を図る。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く意義について考え、仕事の三要素について理解する。</li> <li>職業の種類やその特徴を理解し、収集した進路情報を基に就業体験先や進路選択(進学、就職)について考えることができる。</li> <li>現実の社会で働いている人の話を聞き、職業人として働くことの意義を理解する。</li> <li>制作物についてや活動の流れ等について対話を通して進める。</li> </ul>	<b>【知・技】</b> 自己の将来の生き方や進路について考察するための知識や技能について理解し、働くことがどういうことなのかを知る。 <b>【思・判・表】</b> 自己の能力、適正、興味・関心等と、職業に求められる資質・能力について主体的に考え、必要な情報を収集し、まとめ、伝え、将来の生き方や進路選択に生かしている。 <b>【主学】</b> 課題の解決に向けた学習に主体的・協働的に取り組もうとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己を見つめる</li> <li>働くことの意義</li> <li>講話(専攻科教諭)</li> <li>就業体験の目的</li> <li>就業体験振り返り</li> <li>制作物の決定</li> <li>制作活動・販売学習</li> <li>大学入試について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを活用して、性格的特徴や行動的特徴について自分と他者の回答を比べる。</li> <li>職業について調べたり講話を聞いたりして、業種や職業について知る。</li> <li>就業体験先について調べ、目標を立てたり振り返りをする。</li> <li>制作物を決め、作成に取り組む。</li> <li>大学入試の流れについて学ぶ。</li> </ul>
2学期	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションスキルのしくみを理解し、身体と気持ちを意識してスキルを高める。</li> <li>望ましい自己表現を確立し、社会生活や対人関係を営む上で必要とされるコミュニケーションスキルを身に付ける。</li> <li>様々な体験を通し、進路選択に必要な情報収集について考えることができる。</li> </ul>	<b>【知・技】</b> 自己の将来の生き方や進路について考察するための知識や技能について理解し、働くことがどういうことなのかを知る。 <b>【思・判・表】</b> 自己の障害についてや能力、適正、興味・関心等と、職業に求められる資質・能力について主体的に考え、必要な情報を収集し、まとめ、伝え、将来の生き方や進路選択に生かしている。 <b>【主学】</b> 課題の解決に向けた学習に主体的・協働的に取り組もうとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションスキル(視覚障害について、支援についての伝え方)</li> <li>制作活動・販売学習</li> <li>ボランティア活動</li> <li>大学見学(視覚支援について)</li> <li>進路講話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人とつながる様々な手段について考え、メリット、デメリットについて討論する。</li> <li>様々な場面を想定した実践を通し、自己理解を深める。</li> <li>制作物を決め、作成に取り組む。</li> <li>ボランティアについて調べ、体験につなげる。</li> <li>県内の大学について情報収集し、見学する。</li> <li>卒業生のお話を聞き、進路選択や自己のネットワークについて考える。</li> </ul>
3学期	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を見通した生活における家計管理や計画について考えることができる。</li> <li>社会保障制度について理解し、課題について考えることができる。</li> <li>多様な生き方について情報を選択・活用し、主体的に意思決定する力を身に付ける。</li> </ul>	<b>【知・技】</b> 自己の将来のライフプランを考える上で必要な様々な知識や技能を理解する。 <b>【思・判・表】</b> 自己の障害についてや能力、適正、興味・関心等と、職業に求められる資質・能力について主体的に考え、必要な情報を収集し、まとめ、伝え、将来の生き方や進路選択に生かしている。 <b>【主学】</b> 課題の解決に向けた学習に主体的・協働的に取り組もうとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>金銭管理</li> <li>社会保障制度</li> <li>ライフプラン</li> <li>卒業生の進路</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートやゲームを通して、生活に必要なお金や有効な使い方について討論する。</li> <li>社会福祉制度の四つの柱について学び、課題を見つける。</li> <li>自己理解を整理し、具体的なライフプランについて考え発表する。</li> <li>1年を振り返り、進路選択についてまとめる。</li> </ul>

## 令和7年度 LHR I 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		2年			
年間目標		<p>○(知及技)多様な他者と協働する様々な集団生活の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>○(思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するための話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>○(学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・ 題材の評価規準	単元・ 題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人目標を決める。</li> <li>学級での自分の役割を確認する。</li> <li>校内外を散策し、環境把握をする。</li> <li>平和について考える。</li> <li>実習先や就業体験の目的を確認する。</li> <li>1学期の振り返りを行う。</li> </ul>	<p>(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。</p> <p>自己の生活の充実・向上や自己実現に必要な情報及び方法を理解している。</p> <p>よりよい生活や社会を構築するための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身につけている。</p>	<p>年間計画を立てる</p> <p>凡事徹底とは道徳的内容</p> <p>平和学習</p> <p>交流学習</p> <p>進路について</p> <p>1学期の反省・夏休みの計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級目標、個人目標を立てる。(思)</li> <li>クラスの係活動の内容を話し合う。(知)</li> <li>凡事徹底の言葉の意味とクラスでできる、個人でできる凡事徹底を考えることができる。(思)(主)</li> <li>他者との関わり方について考える。(思)</li> <li>平和講話への参加等を通し、戦争の悲惨さ、平和の尊さを考える。(思)</li> <li>他校生徒との交流を深めことができる。(思)(主)</li> <li>キャリアパスポートを活用し、進路について考える。(思)(主)</li> <li>就業体験(校内実習)について、準備や確認ができる。(知)(主)</li> <li>1学期を振り返り、自らの課題を見つけ、夏休みの計画を考える。(思)</li> </ul>
2 学期	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しを持って2学期をスタートする。</li> <li>運動会・修学旅行に向けて、活動をする。</li> <li>自分の進路に向けて準備する。</li> <li>2学期の振り返りを行う。</li> </ul>	<p>(思判表力)所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決法を話し合い、合意形成を図り、意思決定をしたりして実践している。</p> <p>(学・人)生活や社会、人間関係をよりよく構築するために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。</p> <p>主体的に人間としての在り方生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしている。</p>	<p>2学期の活動計画</p> <p>道徳的内容</p> <p>運動会・修学旅行に向けて</p> <p>進路について</p> <p>読書月間に向けて</p> <p>点字について</p> <p>交流学習</p> <p>冬休みに向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期の行事を確認し、教室環境整備ができる。(思)(主)</li> <li>集団や社会との関わりに関することについて考える。(思)(主)</li> <li>夏休みを振り返り、2学期の目標を立てる。(思)(主)</li> <li>運動会・修学旅行の役割分担等について確認し、各自の仕事について自覚して行動できる。(知)(主)</li> <li>これまでの準備等反省をし本番に向けて確認できる。(知)(主)</li> <li>自分の進路について必要なことを考え準備できる。(思)(主)</li> <li>身だしなみやマナーについて考え、理解を深める。(知)(思)</li> <li>進路講話に参加、キャリアパスポートを活用し、自分の進路について考えることができる。(思)(主)</li> <li>読書講話に参加する。(思)</li> <li>点字をより深く理解する。(知)</li> <li>他校生徒との交流を深めことができる。(思)・学期を振り返り、充実した年末年始になるよう、計画する。(思)(主)</li> </ul>
3 学期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しを持って3学期をスタートする。</li> <li>3年間を振り返る。</li> <li>卒業後の進路に備える。</li> </ul>	<p>(学・人)生活や社会、人間関係をよりよく構築するために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。</p> <p>主体的に人間としての在り方生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしている。</p>	<p>新年を迎えて</p> <p>道徳的内容</p> <p>卒業後の生活について</p> <p>卒業式に向けて</p> <p>3年間を振り返る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新年の目標、テストに向けて計画を立てる。(思)</li> <li>相手との会話について考える。(思)(主)</li> <li>希望の進路へ向けて情報収集する。(知)(思)</li> <li>身だしなみやマナーについて考え、理解を深める。(知)(思)</li> <li>卒業式に向けての諸活動に取り組む。(思)(主)</li> <li>1年間の成果と課題を振り返り、今後の学習の見通しをもつ。(思)(主)</li> </ul>

令和7年度 総合的な探究の時間 I 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		2年、3年生			
年間目標		<p>探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うこと通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。</p> <p>(知及技) 探求の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(学・人) 探求に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	<p>年間の計画を話し合い立てる。</p> <p>高等部の生徒の名前や声を覚え、交流を図る。</p> <p>沖縄戦について調べ、自分の意見を持つ</p>	<p><b>【知・技】</b> 地域や社会の人、もの、ことに関わる探求の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気づいている。</p> <p><b>【思・判・表】</b> 地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現し力をつけている。</p>	<p>年間計画</p> <p>ビジネスマナー</p> <p>SST</p> <p>就業体験事前学習・事後学習</p> <p>1学期のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の計画を立てる。</li> <li>・新入生を盛大に迎える。</li> <li>・自己紹介をする。</li> <li>・沖縄戦について調べ、調べたことについて質問や意見交換を行う</li> <li>・調べたことをまとめ発表・意見交換する。</li> <li>・校内実習の事前学習や事後学習を通して、働くことの意味や自分の適性及び課題を知る。</li> <li>・1学期の学習を振り返る。</li> </ul>
		<p>就労について考え将来の仕事について考える</p> <p>1学期の活動を振り返る</p>			
2 学期	14	<p>2学期の計画を話し合う。</p> <p>先輩方の話を聞き、就労について考え将来の仕事について考える</p>			

		2学期の活動を振り返る	献しようとしている。	2学期のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の学習を振り返る。</li> </ul>
3学期	9	<p>3学期の計画を話し合う。</p> <p>計画を立てて、協力して調理実習を行う。</p> <p>1年の活動を振り返る</p>		<p>新年の抱負</p> <p>バリアフリースポーツを考えよう</p> <p>振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年の抱負を発表する。</li> <li>・計画を立てて調理実習を行う。</li> <li>・身につけておくべきことを再確認する。</li> <li>・一年間の振り返りをする。</li> </ul>

令和7年度 文学国語 I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
175		3年	
年間目標	<p>(知及技) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(思判表力) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(学・人) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>		
学期	時数	題材名	
1学期	60	(小説) 調律師のるみ子さん	
		(詩) 生命は	
		(詩) そこにひとつの席が	
		(詩) 食事	
		(小説) 相棒	
		(小説) ナイン	
		(随想) 花のいざない	
		(随想) 真珠の耳飾りの少女	
		(小説) 鼻	
		(小説) こころ	
		(小説) バグダッドの靴磨き	
2学期	70	(詩) わたしが一番きれいだったとき	
		(詩) 死んだ男の残したものは	
		(詩) 春ーイラクの少女シャミラに	
		(小説) 旅する本	
		(小説) 富嶽百景	
		(小説) 山月記	
		(小説) 清兵衛と瓢箪	
		(詩) こころ	
		(詩) 汚れつちまつた悲しみに…	
		(詩) 永訣の朝	
		(小説) 卒業	

令和7年度 文学国語 I 課程A 年間指導計画

		(小説) ひよこの眼
3 学 期	4 5	(小説) 血であながったもの
		(小説) 夏の花
		物語を創造する
		テーマを決めて短歌・俳句を作る
		古典を基にして物語を作る

令和7年度 地理総合 I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		3年			
年間目標	(知及技) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。				
	(思判表力) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。				
	(学・人) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さを自覚することができる。				
学期	時数	部	章	題材名	
1	24	第1編	第1章 私たちが暮らす世界	1 緯度・経度	
				2 地球儀と世界地図	
				3 日本の位置と領域	
			第2章 地図や地理情報システムの役割	4 地図の種類	
				5 地形図のルール	
				6 主題図の種類と読み取り	
		第2編	第3章 資料から読み取る現代世界	7 地理情報システムと地図	
				8 交通の発達	
				9 情報通信の発達	
				10 国境をこえる人々の移動	
				11 拡大する貿易	
				12 つながる世界、多極化する世界	
2	28	第2編	第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境	13 文化の地域性と多様性	
				14 宗教と人々の暮らし	
				15 山地の暮らし	
				16 平野の暮らし	
				17 海岸の暮らし	
				18 多様な気候とその分布	
				19 熱帯の人々の暮らし	
				20 乾燥帯の人々の暮らし	
				21 温帯の人々の暮らし	
				22 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし	
				23 食生活と農業の分布	
				24 工場立地の変化	
				25 商業立地と人々の生活	
				26 情報産業の発達と生活文化の変化	
				27 地球環境問題(1)	
				28 地球環境問題(2)	

2	28	第2編	第2章 さまざまな地球的課題と国際協力	29 資源・エネルギーの偏在
				30 化石燃料から再生可能エネルギーへ
				31 発展途上国の人口問題
				32 先進国の人口問題
				33 食糧需給をめぐる問題
				34 発展途上国の居住・都市問題
				35 先進国の居住・都市問題
				36 民族問題・難民問題
				37 地球的課題と国際協力
3	18	第3編	第1章 自然環境と防災	38 日本の地形の特色
				39 日本の気候の特色
				40 地震災害・津波災害（1）
				41 地震災害・津波災害（2）
				42 火山の災害とめぐみ
				43 気象災害（1）寒さ・暑さと台風
				44 気象災害（2）大雨と洪水・土砂災害
				45 都市と自然災害
				46 防災・減災と復旧・復興
				第2章 生活圏の調査と地域の展望
		48 地域調査1（資料調査）		
		49 地域調査2（野外調査）		
		50 まとめと発表		
		年間総時数 70時間		

令和7年度 日本史探求 I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者
105		3年		
年間目標	<p>(知及技)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。</p> <p>(思判表力)我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。</p> <p>(学・人)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>			
学期	時数	部	章	題材名
1	35	第I部 原始・古代	第1章 日本文化のあけぼの	文化の始まり
				農耕社会の成立
				古代社会と海外との交流
				木簡から古代国家を探る
		第2章 古墳とヤマト政権	古墳文化の展開	
			飛鳥の朝廷	
		第3章 律令国家の成立	律令国家への道	
			平城京の時代	
			律令国家の文化	
			律令国家の変容	
		第4章 貴族政治の展開	摂関政治	
			国風文化	
			地方政治の展開と武士	
		第5章 院政と武士の躍進	院政のはじまり	
			院政と平氏政権	
			絵画から中世社会を探る	
第II部 中世	第6章 武家政権の成立	鎌倉幕府の成立		
		武士の社会		
		モンゴル襲来と幕府の衰退		
		鎌倉文化		
第7章 武家社会の成長	室町幕府の成立			
	幕府の衰退と庶民の台頭			
	室町文化			
2	42	第III部	第8章 近世の幕開け	織豊政権
				桃山文化
				生類憐みの令からみる江戸時代の社会の変化
		第9章 幕藩体制の成立と展開	幕藩体制の成立	
			幕藩社会の構造	
			幕政の安定	
			幕政の安定	

				経済の発展
				元禄文化
			第10章 幕藩体制の動揺	幕政の改革
				宝暦・天明期の文化
幕府の衰退と近代への道				
化政文化				
			第11章 近世から近代へ	開国と幕末の動乱
				幕府の滅亡と新政府の発足
五箇条の誓文と国是				
貿易の変遷からみる日本の近代・現代				
			第12章 近代国家の成立	明治維新と富国強兵
				立憲国家の成立
			第13章 近代国家の展開	日清・日露戦争と国際関係
				第一次世界大戦と日本
ワシントン体制				
3	28	第IV部 近代・現代	第14章 近代の産業と生活	近代産業の発展
				近代文化の発達
市民生活の変容と大衆文化				
			第15章 恐慌と第二次世界大戦	恐慌の時代
				軍部の台頭
第二次世界大戦				
			第16章 占領下の日本	占領と改革
				冷戦の開始と講和
			第17章 高度成長の時代	55年体制
				経済復興から高度経済成長へ
			第18章 激動する世界と日本	経済大国への道
				冷戦の終結と日本社会の変容
				様々な災害と日本
年間総時数		105時間		

令和7年度 数学B I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者
70		3年		
年間目標	<p>(知及技) 数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活との関わりについて認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>			
	<p>(思判表力) 離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現し考察する力, 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p>			
	<p>(学・人) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>			
学期	時数	章	題材名	
1 学 期		第1章 数列	1. 数列と一般項	
			2. 等差数列	
			3. 等差数列の和	
			4. 等比数列	
			5. 等比数列の和	
			6. 和の記号 $\Sigma$	
			7. 階差数列	
			8. いろいろな数列の和	
			9. 漸化式	
			10. 数学的帰納法	
2 学 期		第2章 統計的な推測	1. 確率変数と確率分布	
			2. 確率変数の期待値と分散	
			3. 確率変数の和と積	
			4. 二項分布	
			5. 正規分布	
			6. 母集団と標本	
			7. 標本平均の分布	

			8. 推定
			9. 仮説検定
3 学 期		第3章 数学と社 会生活	1. 数学を活用した問題解決
			2. 社会の中にある数学
			3. 時系列データと移動平均
			4. 回帰分析によるデータの分析

令和7年度 地学基礎 I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		3年	
年間目標	<p>(知及技) 日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、観察，実験などを行うことを通して，基本的な概念や原理・法則を理解する。</p> <p>(思判表力) 探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法が習得できている。</p> <p>(学・人) 主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度が養われている。その際，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度が養われている。</p>		
学期	時数	題材名	
1学期	24	・地球の形と大きさ	
		・地球内部の構成	
		・プレートの運動	
		・火山と地震	
2学期	28	・地層と化石	
		・古生物の変遷と地球環境	
		・大気構造と運動	
		・大気の大循環	
		・海洋の構造と海水の運動	
		・日本の四季の気象と気候	
3学期	18	・太陽系の中の地球	
		・太陽とその進化	
		・宇宙のすがた	
		・地球の環境	

## 令和7年度 体育 I 課程 AB 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		1年、2年、3年			
年間目標		(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (学・人) 渉外にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	・体づくり運動 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うこと。 イ 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むこと。	<b>【知・技】</b> 体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法を理解することができる。 <b>【思・判・表】</b> 体の動きを高める運動について自他の課題を発見することができる。 <b>【主学】</b> きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力することができる。	・体づくり運動           ・マイトレーニングを作るう           ・球技	・体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ） ・集合・整列 ・体力測定 50m走、100m走、ボール投げ、握力、上体起こし、反復横跳び、長座体前屈、立ち幅跳び、シットラン           ・サーキット ・トレーニング作り           ・フロアバレーボール
		・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。	<b>【知識・技能】</b> 球技の楽しさや喜びを味わい、簡易化されたゲームを行うことができる。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 球技についての自他の課題を発見することができる。 <b>【学びに向かう力】</b> きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力することができる。	・球技	・フロアバレーボール
		・水泳 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。	<b>【知識・技能】</b> 水泳の楽しさや喜びを深く味わうことができる。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 水泳について自他の課題を発見することができる。 <b>【学びに向かう力】</b> きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保することができる。	・水泳	・水中運動（歩く・走る・ジャンプ） バタ足、水に潜る、呼吸法（息継ぎ）、クロール、平泳ぎ
2 学期	28	・ダンス 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。	<b>【知識・技能】</b> ダンスの楽しさや喜びを深く味わうことができる。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> ダンスについて自他の課題を発見することができる。 <b>【学びに向かう力】</b> 一人一人の表現や役割を認め助け合うことができる。	・ダンス	・伝統的なダンス（エイサー）
		・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。	<b>【知識・技能】</b> 球技の楽しさや喜びを味わい、簡易化されたゲームを行うことができる。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 球技についての自他の課題を発見することができる。 <b>【学びに向かう力】</b> きまりやルール、マナー	・球技	・ゴールボール ・サウンドテーブルテニス

		開すること。	などを守り、仲間と協力することができる。		
3 学 期	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</li> <li>・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</li> </ul>	<p>【知識・技能】陸上競技の楽しさや喜びを味わうことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】陸上競技について自分の課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力】陸上競技のきまりやルール、マナーなどを守って安全に運動することができる。</p> <p>【知識・技能】球技の楽しさや喜びを味わい、簡易化されたゲームを行うことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】球技についての自他の課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力】きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技</li> <li>・球技</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離走、持久走</li> <li>・フロアバレーボール</li> <li>・風船バレー</li> </ul>

令和7年度 音楽Ⅲ I 課程A 年間指導計画

配当時数	生徒について		担当者
70	3年		
年間目標	<p>(知及技) 音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 音楽に関する知識や技能を働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができる。</p> <p>(学・人) 協働して音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>		
学期	時数	題材名	
1 学期	24	曲想を感じ取って、曲にふさわしい発声で歌おう	
		リズムの重なり合いや、音色の違いを感じ取ってアンサンブルを楽しもう	
		和楽器に親しみ、表現豊かに演奏しよう	
		音楽のよさや美しさを深く味わい、文化や芸術としての意味や価値を探ろう	
		日本の伝統音楽や世界の諸民族の音楽を体験しよう	
2 学期	28	曲の内容を理解して、日本や外国の歌曲を表現豊かに歌おう	
		ポップスの特徴を理解して表現豊かに歌おう	
		表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルを楽しもう	
		表現を工夫してギターを演奏したり、弾き歌いをしたりしよう	
		曲の内容を理解してミュージカル・ナンバーを歌おう	
3 学期	18	表現を工夫して鍵盤楽器を演奏したり、弾き歌いをしたりしよう	
		オスティナートを用了曲づくりや音素材の特徴を生かした作品づくりをしよう	
		3年間のまとめのコンサートを開こう	

令和7年度 美術Ⅲ I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		3年			
年間目標		(知及技) 対象や事象を造形的な視点で理解を深め、意図に応じ表現を創意工夫し、創造的に表す。 (思判表力) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表現について考え、発想し構想し、見方や感じ方を深める。 (学・人) 主体的に創造活動に取り組み、美術を通して、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	展示まで意識して表現することができる	【知・技】鑑賞者について考えることができる。 【思・判・表】鑑賞者や展示場所までも含めた表現を行うことができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	JIZOING	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地蔵の制作</li> <li>・地蔵を配置する</li> </ul>
2学期	30	これまで取り組んだ表現方法を振り返り表現する	【知・技】美術で学んだ知識や技術を思い出して選択することができたか。 【思・判・表】何でどんなものを作るのかという主題を自分で生成することができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	卒業制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主題を生成し、自分を表現する</li> </ul>
3学期	12	自分の作品の意図に合った展示を行う。	【知・技】タイトルやキャプションなど、展示をして他者に伝える方法を理解する。 【思・判・表】他者視点で自分の表現物を伝えようとすることができたか。 【主学】自分の作品を客観的に捉え展示ができたか。	展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業制作の展示</li> </ul>
	6	いつか、誰かに届けるメッセージという題材から意図を持って言葉を紡ぐことができる	【知・技】言葉の技術を高めることができる。 【思・判・表】誰かに届けるメッセージ、誰かに届けて欲しいメッセージというテーマから作品を考えることができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	誰かへのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージ考えを校舎に配置する</li> </ul>

令和7年度 英語コミュニケーションⅡ I 課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		3年	
年間目標	<p>(知及技) 語彙や表現、文法などを習得し、適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 目的や場面、状況などに応じて、基本的な語彙や文法の知識を活用して、適切に表現したり伝え合ったりする力を養う。</p> <p>(学・人) 英語の背景にある多様な文化や考え方に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に円滑なコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>		
学期	時数	題材名	
1 学 期	24	Lesson 7 Artificial Intelligence	
		COMMUNICATE+ 1	
		Lesson 8 The Mystery of Colors	
		FOCUS+ 1	
2 学 期	28	Lesson 9 Street Performers	
		Lesson 10 The Culture of Selfies	
		Lesson 11 Finland	
3 学 期	18	Lesson12 In Order to Spend Happy Life	
		FOCUS+ 2	
		COMMUNICATE+ 2	
		Reading Cremona	

# 令和7年度 情報Ⅰ I課程A 年間指導計画

配当時数	生徒について	担当者
70	3年	
年間目標	<p>(知及技) (1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。</p> <p>(思判表力) (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う</p> <p>(学・人) (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う</p>	
学期	時数	題材名
1 学期	24	1 情報社会
		2 情報社会の法規と権利
		3 情報技術が築く新しい社会
		4 メディアとコミュニケーション
2 学期	28	1 情報デザイン
		2 情報デザインの実践
		3 情報システムの構成
		4 情報のデジタル化
		5 情報通信ネットワーク
		6 情報セキュリティ
3 学期	18	1 問題解決
		2 データの活用
		3 モデル化
		4 シミュレーション
		5 プログラミングの方法
		6 プログラミングの実践

令和7年度 LHR I 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		3年			
年間目標		<p>○(知及技)多様な他者と協働する様々な集団生活の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>○(思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するための話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>○(学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・ 題材の評価規準	単元・ 題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人目標を決める。</li> <li>学級での自分の役割を確認する。</li> <li>校内外を散策し、環境把握をする。</li> <li>平和について考える。</li> <li>実習先や就業体験の目的を確認する。</li> <li>1学期の振り返りを行う。</li> </ul>	<p>(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。</p> <p>自己の生活の充実・向上や自己実現に必要な情報及び方法を理解している。</p> <p>よりよい生活や社会を構築するための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身につけている。</p>	<p>年間計画を立てる</p> <p>凡事徹底とは道徳的内容</p> <p>平和学習</p> <p>交流学習</p> <p>進路について</p> <p>1学期の反省・夏休みの計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級目標、個人目標を立てる。(思)</li> <li>クラスの係活動の内容を話し合う。(知)</li> <li>凡事徹底の言葉の意味とクラスでできる、個人でできる凡事徹底を考えることができる。(思)(主)</li> <li>他者との関わり方について考える。(思)</li> <li>平和講話への参加等を通し、戦争の悲惨さ、平和の尊さを考える。(思)</li> <li>他校生徒との交流を深めことができる。(思)(主)</li> <li>キャリアパスポートを活用し、進路について考える。(思)(主)</li> <li>就業体験(校内実習)について、準備や確認ができる。(知)(主)</li> <li>1学期を振り返り、自らの課題を見つけ、夏休みの計画を考える。(思)</li> </ul>
2 学期	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しを持って2学期をスタートする。</li> <li>運動会・修学旅行に向けて、活動をする。</li> <li>自分の進路に向けて準備する。</li> <li>2学期の振り返りを行う。</li> </ul>	<p>(思判表力)所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決法を話し合い、合意形成を図り、意思決定をしたりして実践している。</p>	<p>2学期の活動計画</p> <p>道徳的内容</p> <p>運動会・修学旅行に向けて</p> <p>進路について</p> <p>読書月間に向けて</p> <p>点字について</p> <p>交流学習</p> <p>冬休みに向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期の行事を確認し、教室環境整備ができる。(思)(主)</li> <li>集団や社会との関わりに関することについて考える。(思)(主)</li> <li>夏休みを振り返り、2学期の目標を立てる。(思)(主)</li> <li>運動会・修学旅行の役割分担等について確認し、各自の仕事について自覚して行動できる。(知)(主)</li> <li>これまでの準備等反省をし本番に向けて確認できる。(知)(主)</li> <li>自分の進路について必要なことを考え準備できる。(思)(主)</li> <li>身だしなみやマナーについて考え、理解を深める。(知)(思)</li> <li>進路講話に参加、キャリアパスポートを活用し、自分の進路について考えることができる。(思)(主)</li> <li>読書講話に参加する。(思)</li> <li>点字をより深く理解する。(知)</li> <li>他校生徒との交流を深めことができる。(思)・学期を振り返り、充実した年末年始になるよう、計画する。(思)(主)</li> </ul>
3 学期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>見通しを持って3学期をスタートする。</li> <li>3年間を振り返る。</li> <li>卒業後の進路に備える。</li> </ul>	<p>(学・人)生活や社会、人間関係をよりよく構築するために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。</p> <p>主体的に人間としての在り方生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしている。</p>	<p>新年を迎えて</p> <p>道徳的内容</p> <p>卒業後の生活について</p> <p>卒業式に向けて</p> <p>3年間を振り返る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新年の目標、テストに向けて計画を立てる。(思)</li> <li>相手との会話について考える。(思)(主)</li> <li>希望の進路へ向けて情報収集する。(知)(思)</li> <li>身だしなみやマナーについて考え、理解を深める。(知)(思)</li> <li>卒業式に向けての諸活動に取り組む。(思)(主)</li> <li>1年間の成果と課題を振り返り、今後の学習の見通しをもつ。(思)(主)</li> </ul>

令和7年度 総合的な探究の時間 I 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		2年、3年生			
年間目標		<p>探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うこと通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。</p> <p>(知及技) 探求の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(学・人) 探求に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	<p>年間の計画を話し合い立てる。</p> <p>高等部の生徒の名前や声を覚え、交流を図る。</p> <p>沖縄戦について調べ、自分の意見を持つ</p>	<p><b>【知・技】</b> 地域や社会の人、もの、ことに関わる探求の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気づいている。</p> <p><b>【思・判・表】</b> 地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現し力をつけている。</p>	<p>年間計画</p> <p>ビジネスマナー</p> <p>SST</p> <p>就業体験事前学習・事後学習</p> <p>1学期のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の計画を立てる。</li> <li>・新入生を盛大に迎える。</li> <li>・自己紹介をする。</li> <li>・沖縄戦について調べ、調べたことについて質問や意見交換を行う</li> <li>・調べたことをまとめ発表・意見交換する。</li> <li>・校内実習の事前学習や事後学習を通して、働くことの意味や自分の適性及び課題を知る。</li> <li>・1学期の学習を振り返る。</li> </ul>
		<p>就労について考え将来の仕事について考える</p> <p>1学期の活動を振り返る</p>			
2 学期	14	<p>2学期の計画を話し合う。</p> <p>先輩方の話を聞き、就労について考え将来の仕事について考える</p>			

		2学期の活動を振り返る	献しようとしている。	2学期のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の学習を振り返る。</li> </ul>
3学期	9	3学期の計画を話し合う。  計画を立てて、協力して調理実習を行う。  1年の活動を振り返る		新年の抱負  バリアフリースポーツを考えよう  振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年の抱負を発表する。</li> <li>・計画を立てて調理実習を行う。</li> <li>・身につけておくべきことを再確認する。</li> <li>・一年間の振り返りをする。</li> </ul>

令和7年度 現代の国語 I 課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
105		1年	
年間目標	<p>(知及技) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。</p> <p>(思判表力) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(学・人) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>		
学期	時数	題材名	
1学期	36	まだ知らない自分に出会う	
		届く言葉	
		評論の読み方	
		分かりやすい説明をする	
		不思議な拍手	
		水の東西	
		文化の東西	
		発想を広げて課題を見つける 新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる	
2学期	40	まちの豊かさとは何か	
		時間と自由の関係について	
		コミュニティのこれから	
		本を紹介する	
		調べた情報を説明資料にまとめる	
		真の自立とは 自立と市場	
3学期	29	共鳴し引き出される力	
		文章を読み比べるために	
		異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く	
		情報を整理しながら話し合う	
		人工知能はなぜ椅子に座れないのか	
		白	
		人間の境界 少女たちの「ひろしま」	

# 令和7年度 公共 I 課程 B 年間指導計画

配当時数	生徒	担当者
70	1年	
年間目標	(知及技) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための概念や理論について理解し、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 (思判表力) 公共的な空間における基本的原理を活用して、合意形成や社会参画について議論する力を養う。 (学・人) 国民主権を担う公民として、協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	
学期	時数	単元名
年間を通して		新聞を読んで時事に関心を持とう (NIE)
1 学期	22	第1部 私たちがつくる社会  第1章 社会の中の私たち 第1節 青年期と社会参画 第2節 宗教・思想・伝統文化と社会  第2章 思想から学ぶべきもの平和について考えよう 第1節 倫理的な見方・考え方
		第3章 私たちの社会の基本原則 第1節 社会の基本原則と憲法の考え方
2 学期	32	第2部 社会のしくみと諸課題  第1章 私たちと法 第1節 法の意義の司法参加
		第2章 私たちと政治 第1節 民主社会と政治参加 第2節 国際政治の動向と平和の追求
		第3章 私たちと経済 第1節 市場経済のしくみ 第2節 豊かな社会の実現 第3節 国際経済の動向と格差是正
3 学期	16	第3章 私たちと経済 第1節 市場経済のしくみ 第2節 豊かな社会の実現 第3節 国際経済の動向と格差是正
		第3部 持続可能な社会の実現に向けて  課題探求学習 ・日本の発電エネルギーについて ・パリ協定目標達成のために国際社会に必要なことについて

# 令和7年度 数学 I I 課程 B 年間指導計画

配当時数	生徒について		担当者
140	1年		
年間目標	<p>(知及技) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 数や式を多面的にみて目的に応じて適切な手法を選択して変形や分析を行い、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けたり、図形の性質や計量について論理的な視点で問題を解決したりして、解決の過程や結果を批判的に考察、判断する力を養う。</p> <p>(学・人) 数学のよさを認識して活用し、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
学期	時数	章	題材名
1 学 期	48	第1章 数と式	1. 多項式の加法と減法
			2. 多項式の乗法
			3. 因数分解
			4. 実数
			5. 根号を含む式の計算
			6. 不等式の性質
			7. 1次不等式
			8. 絶対値を含む方程式・不等式
		第2章 集合と命題	1. 集合
			2. 命題と条件
			3. 命題とその逆・対偶・裏
			4. 命題と証明
2 学 期	56	第3章 2次関数	1. 関数とグラフ
			2. 2次関数のグラフ
			3. 2次関数の最大・最小
			4. 2次関数の決定
			5. 2次方程式

3 学 期	36		6. 2次関数のグラフと x 軸の位置関係
			7. 2次不等式
		第4章 図形と計量	1. 三角比
			2. 三角比の相互関係
			3. 三角比の拡張
			4. 正弦定理
			5. 余弦定理
			6. 正弦定理と余弦定理の応用
			7. 三角形の面積
			8. 空間図形への応用
		第5章 データの分析	1. データの整理
			2. データの代表値
			3. データの散らばりと四分位数
			4. 分散と標準偏差
			5. 2つの変量の間関係
			6. 仮説検定の考え方

令和7年度 地学基礎 I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		1年	
年間目標	<p>(知及技) 日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、観察，実験などを行うことを通して，基本的な概念や原理・法則を理解する。</p> <p>(思判表力) 探究の過程を通して，問題を見いだすための観察，情報の収集，仮説の設定，実験の計画，実験による検証，調査，データの分析・解釈，推論などの探究の方法が習得できている。</p> <p>(学・人) 主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度が養われている。その際，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度が養われている。</p>		
学期	時数	題材名	
1学期	24	・地球の形と大きさ	
		・地球内部の構成	
		・プレートの運動	
		・火山と地震	
2学期	28	・地層と化石	
		・古生物の変遷と地球環境	
		・大気構造と運動	
		・大気の大循環	
		・海洋の構造と海水の運動	
		・日本の四季の気象と気候	
3学期	18	・太陽系の中の地球	
		・太陽とその進化	
		・宇宙のすがた	
		・地球の環境	

## 令和7年度 体育 I 課程 AB 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		1年、2年、3年			
年間目標		(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (学・人) 渉外にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	・体づくり運動 ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うこと。 イ 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むこと。	<b>【知・技】</b> 体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法を理解することができる。 <b>【思・判・表】</b> 体の動きを高める運動について自他の課題を発見することができる。 <b>【主学】</b> きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力することができる。	・体づくり運動           ・マイトレーニングを作るう   ・球技	・体ほぐし運動（ラジオ体操、ストレッチ） ・集合・整列 ・体力測定 50m走、100m走、ボール投げ、握力、上体起こし、反復横跳び、長座体前屈、立ち幅跳び、シタルン           ・サーキット ・トレーニング作り   ・フロアバレーボール
		・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。	<b>【知識・技能】</b> 球技の楽しさや喜びを味わい、簡易化されたゲームを行うことができる。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 球技についての自他の課題を発見することができる。 <b>【学びに向かう力】</b> きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力することができる。	・球技	・フロアバレーボール
		・水泳 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。	<b>【知識・技能】</b> 水泳の楽しさや喜びを深く味わうことができる。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 水泳について自他の課題を発見することができる。 <b>【学びに向かう力】</b> きまりやルール、マナーなどを守り、安全を確保することができる。	・水泳	・水中運動（歩く・走る・ジャンプ） バタ足、水に潜る、呼吸法（息継ぎ）、クロール、平泳ぎ
2 学期	28	・ダンス 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。	<b>【知識・技能】</b> ダンスの楽しさや喜びを深く味わうことができる。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> ダンスについて自他の課題を発見することができる。 <b>【学びに向かう力】</b> 一人一人の表現や役割を認め助け合うことができる。	・ダンス	・伝統的なダンス（エイサー）
		・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。	<b>【知識・技能】</b> 球技の楽しさや喜びを味わい、簡易化されたゲームを行うことができる。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 球技についての自他の課題を発見することができる。 <b>【学びに向かう力】</b> きまりやルール、マナー	・球技	・ゴールボール ・サウンドテーブルテニス

		開すること。	などを守り、仲間と協力することができる。		
3 学 期	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</li> <li>・球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</li> </ul>	<p>【知識・技能】陸上競技の楽しさや喜びを味わうことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】陸上競技について自分の課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力】陸上競技のきまりやルール、マナーなどを守って安全に運動することができる。</p> <p>【知識・技能】球技の楽しさや喜びを味わい、簡易化されたゲームを行うことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】球技についての自他の課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力】きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技</li> <li>・球技</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離走、持久走</li> <li>・フロアバレーボール</li> <li>・風船バレー</li> </ul>

令和7年度 音楽 I I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		1年	
年間目標	<p>(知及技) 音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 音楽表現を創意工夫するとともに、音楽のよさや美しさを味わうことができる。</p> <p>(学・人) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育み、音楽によって生活や社会を明るく豊かにする態度を養う。</p>		
学期	時数	題材名	
1学期	24	正しい発声を身に付けて、豊かな響きで歌おう	
		音色を工夫したり、リズムパターンを変化させたりしてリズム合奏を楽しもう	
		これは音楽だといえるだろうか？音楽って何だろう？	
		日本語の響きや歌詞の内容、曲の背景を理解して、ふさわしい歌声で表現しよう	
		ガムラン《ランチャラン マニャルセウ》の音楽の構造を理解し、ガムラン音楽とインドネシアの風土や気候との関わりを考えよう	
2学期	28	イタリア語の発音の特徴を捉え、曲の雰囲気を楽しみながら歌おう	
		2人の作曲家による《野ばら》を、それぞれの雰囲気を生かして歌おう	
		日本の民謡や民俗芸能の特徴を知って、沖縄・奄美群島のさまざまな音楽を聴いてその特徴を感じ取ろう	
		《六段の調》の唱歌をよく聴いて覚え、箏の演奏に生かそう	
		オペラ《椿姫》に描かれた社会のあり方を理解してオペラならではの表現を感じ取り、〈乾杯の歌〉を歌おう	
		ベートーヴェンの交響曲第9番第4楽章を聴いて、この曲に込められた作曲者の思いを話し合おう	
		変奏や編曲に挑戦して、つくった作品を発表しよう	
3学期	18	《ウエスト サイド ストーリー》の社会背景を理解して鑑賞し、〈Tonight〉を歌い、〈America〉の器楽合奏を楽しもう	
		物語と音楽との関わりを理解し、《魔法使いの弟子》で作曲者が工夫したことを探求しよう	
		歌詞に込められた主張を受け止めて歌おう	

令和7年度 美術 I I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		1年			
年間目標		(知及技) 対象や事象を造形的な視点で理解を深め、意図に応じ表現を創意工夫し、創造的に表す。 (思判表力) 造形的なよさや面白さ、美しさ、表現について考え、発想し構想し、見方や感じ方を深める。 (学・人) 主体的に創造活動に取り組み、美術を通して、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	美術とは何かを話し、身体を通して感じる。	【知・技】美術とは何かについて他の人の経験も踏まえ再考できたか。 【思・判・表】自分なりの美術観を言語化することができたか。 【主学】主体的に学習に参加することができたか。	オリエンテーション	・これまでの経験を振り返る ・美術でやること、美術の意味について考える
	22	打つ行為から表現を生み出すことができる	【知・技】安全に釘を打つことができたか 【思・判・表】行為の中に意図を持つことができたか 【主学】主体的に学習に参加することができたか。	レリーフ作り	・釘やピンなどを打つ ・レリーフを作る
2 学期	16	木を磨き、素材の変化から表現をする。	【知・技】テクスチャについて学ぶ。 【思・判・表】自分の好きなサイズやテクスチャを意識して表現することができたか。 【主学】主体的に学習に参加することができたか。	彫刻 気持ちのいい形	・木に触れ違いを感じる ・自分の持ちやすい木片を作る
	14	土の扱い方を理解し造形をする。	【知・技】粘土の性質を理解する。 【思・判・表】自分の作りたい形を土に触れながら思考し、表現する。 【主学】主体的に学習に参加することができたか。	粘土で陶器を作る	・土作り ・粘土からの造形
3 学期	12	土の扱い方を理解し造形をする。	【知・技】粘土の性質を理解する。 【思・判・表】自分の作りたい形を土に触れながら思考し、表現する。 【主学】主体的に学習に参加することができたか。	粘土で陶器を作る	・土作り ・粘土からの造形
	6	言葉がどのようなイメージを生むか意識することができたか	【知・技】言葉を使ったアート作品とその意図を理解することができる。 【思・判・表】音を発生する装置を使い、共同で表現する。 【主学】主体的に学習に参加することができたか。	言葉とイメージ	・言葉を使った作品の制作

令和7年度 英語コミュニケーションⅠ I課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
105		1年	
年間目標	<p>(知及技) 語彙や表現を適切に活用しようとする態度を養う。</p> <p>(思判表力) 場面に応じて、適切に表現したり伝え合ったりする力を養う。</p> <p>(学・人) 主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>		
学期	時数	題材名	
1 学期	36	GET READY 1~4	
		Lesson 1 The Beautiful Scenery	
		Lesson 2 My Best Friend	
2 学期	42	Lesson 3 Love for Dance	
		FOCUS+ 1	
		Lesson 4 Endangered Species	
		Lesson 5 The History of Chocolate	
3 学期	27	Lesson 6 Our School	
		FOCUS+ 2	
		COMMUNICATE+ 1	

令和7年度 家庭総合 I 課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
70		1年	
年間目標	<p>(知及技) 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。</p> <p>(学・人) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとする。とともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。</p>		
学期	時数	題材名	
1 学期	24	家庭科の学び方ー学習から実践へ	
		生涯発達する自分一人と人とのつながりのなかで	
		青年期を生きる、キャリアの形成、ワークライフバランスを求めて	
		家族・家庭の働き、パートナーと出会う	
		結婚と変化する家族、家族に関する法律	
		次世代をはぐくむ、命のはじまり、乳幼児の体と心の発達	
		親と子のかかわり、乳幼児の生活と安全、子どもの成長と遊び	
		調理実習① 家族の食事をつくろうー和風献立	
2 学期	28	私たちと食事、健康に配慮した食生活、食生活の変化	
		持続可能な食生活、食生活の文化	
		人体と栄養、五大栄養素、嗜好品と健康食品	
		食品の選択と保存、食品の安全と衛生	
		栄養バランスのよい食事、食品群と摂取量のめやす、ライフステージと食事	
		献立作成の手順、調理の基本	
		調理実習② 家族の食事をつくろうー洋風献立	
3 学期	18	私たちと住まい、平面図の活用、住まいのインテリア	
		長く住み続けるために、生涯を見通した住まいの工夫	
		快適で健康な住まい、安全で安心な住まい、住まいと地域社会のかかわり	
		調理実習③ 短時間で手早くつくろうーお弁当	

令和7年度 LHR I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		1年			
年間目標		<p>○(知及技)多様な他者と協働する様々な集団生活の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>○(思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するための話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。</p> <p>○(学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・ 題材の評価規準	単元・ 題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校にはどんな人がいて、どんなルールがあるのかを確認できたか</li> <li>・集団生活の最低限のマナーを個々の事象から考えたか</li> </ul>	<p>(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。</p> <p>自己の生活の充実・向上や自己実現に必要な情報及び方法を理解している。</p>	<p>学校のルール</p> <p>集団のマナー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人の存在を理解する。(知)</li> <li>・多様な人といかに生活するのかを考える。(思) (主)</li> <li>・他者との関わり方について考える。(思)</li> </ul>
2 学期	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会に参加するとはどういうことか考えられたか</li> <li>・やりたいことを実現するため必要なことを考えたか</li> <li>・薬物のリスクについて考えたか</li> </ul>	<p>よりよい生活や社会を構築するための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身につけている。</p>	<p>運動会について</p> <p>やりたいことをやるために</p> <p>薬物のリスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会ではどのように振る舞うのが全体として面白いのかを考え行動する。(知) (主)</li> <li>・やりたいことが出来るようになるために最低限必要なことについて考え、自分なりの答えを出していく。(知) (主)</li> <li>・薬物と法、マナー、生き方について考え、自分なりの答えを出していく。(思) (主)</li> </ul>
3 学期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスをいかに解消するのかを思考できたか</li> <li>・1年間を振り返ることができたか</li> <li>・卒業・進級後の目標を考えたか</li> </ul>	<p>(思判表力)所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決法を話し合い、合意形成を図り、意思決定をしたりして実践している。</p> <p>(学・人)生活や社会、人間関係をよりよく構築するために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。</p> <p>主体的に人間としての在り方生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしている。</p>	<p>ストレス回避</p> <p>振り返り</p> <p>目標設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年を振り返り、自分の中の変化を客観的に捉える。(思)</li> <li>・ストレスとは何かから依存や、人生観について考える。(知) (思)</li> <li>・卒業後や進級後についての自分なりのイメージや目標を考える。(思) (主)</li> </ul>

令和7年度 総合的な探究の時間 I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		1年			
年間目標		<p>探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うこと通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。</p> <p>(知及技) 探求の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(学・人) 探求に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	<p>校内の場所を把握する</p> <p>働くことについて考える</p>	<p>【知・技】</p> <p>地域や社会の人、もの、ことに関わる探求の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気づいている。</p> <p>【思・判・表】</p>	<p>地域の作物について知る</p> <p>就業体験事前学習・事後学習</p>	<p>・沖縄県の作物を学習し、栽培する。</p> <p>・校内実習の事前学習や事後学習を通して、働くことの意味や自分の適性及び課題を知る。</p> <p>・1学期の学習を振り返る。</p>
2学期	14	汗をかいて、働いてみよう	<p>地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現しり力を身につけている。</p> <p>【主学】</p>	<p>野菜の栽培と収穫</p> <p>野菜を使った調理</p> <p>料理の開発</p>	<p>・野菜を栽培し、収穫する。</p> <p>・調理器具などの使い方を知り、簡単な調理方法を学ぶ。</p> <p>・調理の基本から、新しい料理を開発する。</p>
3学期	9	販売活動を通じて感謝されて、感謝する	<p>についての探求活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。</p>	<p>生産物の販売</p> <p>お菓子作りと販売</p>	<p>・収穫した野菜の販売をする。</p> <p>・お菓子を制作して販売する。</p>

令和7年度 国語 II課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		2年・3年			
年間目標		<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(知及技) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようにする。</p> <p>(思判表力) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。</p> <p>(学・人) 言語で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期  3 学期	70	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中して物語の朗読を聴くことができる。</li> <li>・物語の感想を簡単な文章にまとめられる。</li> <li>・あらすじや心情をよみ取れる。</li> <li>・詩や短文、物語や古典文学の冒頭を覚える。</li> <li>・沖縄の言葉に興味をもつことができる。</li> <li>・挨拶や適切な言葉遣いができる。</li> <li>・一文字ずつ、はっきり早く言葉を発することができる。</li> <li>・自分の好きなことや今、考えていることなどを文章にし、発表する。</li> <li>・毎月や季節ごとの行事を知る。</li> <li>・点字記録会に参加できる。</li> <li>・教師が読む行事の資料の内容を静かに聞いたり、復唱したりできる。</li> <li>・卒業生や先生に思い出やお礼を手紙で伝えることができる。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語等の読み聞かせを聞き言葉の響きやリズムに親しんだ。</li> <li>・出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな文の表現に触れることができた。</li> </ul> <p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見聞きしたことのあらましや自分の気持ちなどについて思いついたり、考えたりすることができた。</li> <li>・見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい順序を考えた。</li> <li>・書いた語句や文を読み、間違いを正すことができた。</li> <li>・友だちの発表に興味を持って聞くことができた。</li> </ul> <p><b>【主体的に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉で表すことのよさを感じ、言葉を使おうとする態度を表すことができる。</li> </ul>	<p>読書に親しむ</p> <p>名文暗唱</p> <p>沖縄の方言を学ぶ</p> <p>就業体験について</p> <p>早口言葉</p> <p>意見文を書こう</p> <p>季節を楽しむ</p> <p>点字</p> <p>学校行事の取り組み</p> <p>卒業生や先生に手紙を書こう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を聞き、言葉に興味を持たせる。</li> <li>・朗読を聞き、簡単な質問に答える。</li> <li>・あらすじや心情を読み取る問題に取り組む。</li> <li>・教師が読んだ本に対しての感想を述べる。</li> <li>・様々な作品を暗唱し、味わう。</li> <li>・あいさつや数え歌などを学習する。</li> <li>・校内実習、就業体験のしおりを読む。</li> <li>・早口言葉を練習し、滑舌や発声の上達を目指す。</li> <li>・自分の気持ちなどをことばで表現できることを目指す。</li> <li>・月の行事や季節の行事を紹介し、触覚、嗅覚、聴覚、味覚を使い、楽しむ</li> <li>・めの字・五十音など一部に参加する。</li> <li>・行事の感想等を自ら考え、みんなに発表することができる。</li> <li>・手紙の書き出しや相手のことを思い手紙を書く。</li> </ul>

## 令和7年度 社会 II課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
70		3年、2年			
年間目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な見方や考え方を身に付ける。(知及技)</li> <li>・社会的な事象を自分の生活と関連付けて考え、社会への関わり方を判断する力を養う。(思・判・表)</li> <li>・社会に主体的に関わろうとする態度や、学習したことを社会生活に活用する態度を養う。(学・人)</li> </ul>			
学期	時数	単元名	単元目標	学習内容	評価規準
1	24	国や社会のきまり 歴史上の人物 稲作について 平和について考えよう。	○社会のきまり(ルール・規則)を理解する。(知及技) ○歴史上の人物に触れ、先人たちの考えや言葉について学ぶ。(知及技) ○稲作から農業、食生活について考える(思・判・表) ○平和に対する考えをまとめる。(学・人)	1 国や地方公共団体のきまり 2 働く人を守る法律 3 高橋福治 4 渋沢栄一 5 野口英夫 6 稲作(苗作り、田作り) 7 第二次世界大戦からの学び	社会生活を営む上で大切な法やきまりがあることを理解している。(知及理) 生活に関係の深い公共施設や公共物の役割とその必要性について理解している。(知及理)
2	28	私達の暮らしを支える社会の仕組み 公共交通機関 銀行・郵便局 役所での手続き	○貨幣や税金の大きな枠組み、流れを理解する。(知及技) ○社会保障制度の種類と必要性について考える。(思・判・表) ○社会福祉の仕組みを理解する。(知及技) ○自分達の生活と結び付けて考える(主・学) ○公共の交通機関の利用マナーを理解する。(思・判・表) ○役所でできる手続きの種類や方法を理解する。(主・学)	1 貨幣の種類、税金と私たちの生活 2 暮らしを守る社会保障制度 3 社会福祉について 4 種類と利用のマナー 5 金融とは 6 銀行の仕事 7 郵便局の仕事 8 暮らしの窓口 9 主な手続き	・社会生活の中で自分の役割と責任について考えることができる。(思・判・表) ・地域の人々と互いに協力することの大切さを理解することができる。(主・学)
3	18	警察・消防 病院や保健所 新聞・マスコミ	○警察や消防の働きを理解する。(知及技) ○病院や保健所の役割を理解する。(知及技) ○マスメディアの意味を理解し、活用方法について考える。(思・判・表) ○時事問題について、自ら情報収集することができる。(主・学)	1 警察の働き 2 消防の働き 3 病院の種類と役割 4 病院の診察 5 保健所について 6 マスメディアの広がり 7 情報の活用	
年間総時数		70			

令和7年度 数学 II課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		2年、3年			
年間目標		<p>(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。</p> <p>(思判表力)日常の事象を 数理的に捉えて筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>(学・人)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返って、より効率的に問題を解決しようとする態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元名	単元の目標	単元の活動内容	単元の評価規準
1 学期	24	数と計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>整数の位取りや簡単な数の加法減法の計算ができる。</li> <li>乗法や除法の用いられる場面や意味が分かり、計算することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5, 10 の合成と分解</li> <li>一の位、十の位、百の位、千の位、万の位</li> <li>数の大小</li> <li>足し算引き算</li> <li>くりあがりのない加減</li> <li>かけ算九九</li> <li>物の分け方からわり算を考えよう。</li> </ul>	<p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数の位取りについて理解し、整数の加法減法の計算をすることができる。</li> <li>乗法や除法の意味について理解することができる。</li> </ul> <p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計算の仕方を考えたり、計算の確かめをしたりすることができる。</li> </ul> <p><b>【主学】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加法や減法の計算を学びそれを生活の場面に活用しようとする。</li> <li>乗法や除法の有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。</li> </ul>
2 学期	28	図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の名称、構成要素について理解している。</li> <li>立体の名称、構成要素について理解している。</li> <li>平面図形の面積や合同の意味について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頂点・辺・角</li> <li>平行・垂直</li> <li>平面図形の名称と性質</li> <li>面・底面・側面</li> <li>立体の名称と性質</li> <li>面積の意味</li> <li>平面図形の面積</li> </ul>	<p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図形の名称の意味や性質、合同、面積などについて理解している。</li> </ul> <p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図形について触察し、構成要素から考え、どのような図形かを判断したり、表現したりすることができる。</li> </ul> <p><b>【主学】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近にある図形に関心を持ち、面積や角の大きさについて考えるなど、進んで活用しようとしている。</li> </ul>
		量と測定 変化と関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>物の長さを指や手のひら道具を用いて長さを調べることができる。</li> <li>重さの単位、時間の単位について理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体の一部と長さ</li> <li>長さの単位</li> <li>長さ作り</li> <li>重さの単位</li> <li>身近な物の重さ調べ</li> <li>時間の単位</li> <li>指定の時間まであと何分、何分後</li> </ul>	<p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長さや重さの単位と測定の意味、時間について理解している。</li> </ul> <p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定された長さや重さを作るために必要な長さを考え、物を使って表現することができる。</li> </ul> <p><b>【主学】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長さや重さ、時間について関心をもち、生活の中で活用しようとしている。</li> </ul>
3 学期	18	データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を整理したり、比べたりすることができる。</li> <li>いろいろなグラフの読み方を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きなもの調べと資料の整理</li> <li>棒グラフとその見かた</li> <li>いろいろなグラフの見かた</li> </ul>	<p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料を整理し、いろいろなグラフの読み方や作り方、データを見比べることができる。</li> </ul> <p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろなグラフを触察することで、グラフからわかることを考え、表現することができる。</li> </ul> <p><b>【主学】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料の整理やグラフについて関心を持って、積極的に調べようとしている。</li> </ul>

令和7年度 理科 II課程A 年間指導計画

配当時数	生徒について			担当者	
70	2年、3年				
年間目標	<p>(知及技) 自分自身、身近人々、社会・自然に関心を持つことができる。</p> <p>(思判表力) 身の回りの様子に気付き、感じたことを伝えることができる。</p> <p>(学・人) 自然を愛する心情を養い、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養う。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	<p>(知及技) 身近なものや道具、自然に興味をもって関わる。</p> <p>(思判表力) 自然に触れて、その美しさや不思議さなどに気付く。自分の思ったことを伝える。</p> <p>(学・人) 感心を示すものを増やす。活動できる範囲を広げる。</p>	<p>(知・技) 活動に対して、身の回りの様々なものに興味をもつ。</p> <p>(思・判・表) 活動に対して、自分の考えや動作で反応している。</p> <p>(主・学) 活動に対して、自分で考えた行動で活動することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学に関する新聞記事を読む</li> <li>・校庭散策</li> <li>・沖縄の生物の鳴き声を聞く</li> <li>・植物を育てる</li> <li>・天候</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学に関する新聞記事を読んで日常生活につなげる。</li> <li>・沖縄の生物の鳴き声を聞いて、生物に興味を持つ。</li> <li>・実際に身近な自然を体験する。校庭で植物に触れたり匂いをかいだりする活動を行い、感じたことを発表する。</li> <li>・植物の栽培を行う。プランターに土の準備、苗植え、水やりを一緒に行う。</li> <li>・気温や天気、季節の変化に気付く活動をする。</li> </ul>
2 学期	28	<p>(知及技) 身の回りの生命や自然、ものの仕組みを感じ、状況の変化に関心を持つ。</p> <p>(思判表力) 身の回りの生命や自然、ものについて気付き伝えようとする。</p> <p>(学・人) 感心を示すものを増やす。活動できる範囲を広げる。</p>	<p>(知・技) 活動に対して、身の回りの様々なものに興味をもつ。</p> <p>(思・判・表) 活動に対して、自分の考えや動作で反応している。</p> <p>(主・学) 活動に対して、自分で考えた行動で活動することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭散策</li> <li>・天候</li> <li>・シャーベットの作り</li> <li>・音について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に身近な自然を体験する。校庭で植物に触れたり匂いをかいだりする活動を行う。</li> <li>・気温や天気、季節の変化に気付く活動をする。</li> <li>・温度が違う物質(お湯、水、氷)に触れて違いを感じ、シャーベット作りでの温度の違いに気付く。</li> </ul>

3 学期	18	<p>(知及技)身の回りの生命や自然、ものの仕組みを感じ、状況の変化に関心を持つ。</p> <p>(思判表力)身の回りの生命や自然、ものについて気付き伝えようとする。</p> <p>(学・人)感心を示すものを増やす。活動できる範囲を広げる。</p>	<p>(知・技)活動に対して、身の回りの様々なものに興味をもつ。</p> <p>(思・判・表)活動に対して、自分の考えや動作で反応している。</p> <p>(主・学)活動に対して、自分で考えた行動で活動することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭散策</li> <li>・天候</li> <li>・人間のからだ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に身近な自然を体験する。校庭で植物に触れたり匂いをかいだりする活動を行う。</li> <li>・気温や天気、季節の変化に気付く活動をする。</li> <li>・自分の体、他の人の体に関する活動をする(体を触る、動かす、音を聞く等)。からだの内臓の働きについて学習する。</li> </ul>
---------	----	--	--	---	---

令和7年度 音楽 II課程A 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
70		2年、3年			
年間目標		<p>(知及技)音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。</p> <p>(思判表力)音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりによさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(学・人)主体的・協働的に音楽活動に取り組み、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸や姿勢、発声に気をつけ、歌詞との関わりや言葉を理解し、歌唱することができる。</li> <li>楽器の音色やリズムの特徴を意識して演奏することができる。</li> <li>創意工夫を生かしたリズムで身体表現ができる。</li> <li>曲想やリズムなどの関わりを意識して鑑賞することができる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲名や曲の雰囲気と音楽の構造の関わりについて理解している。</li> <li>声の音色や響きに気を付けて歌っている。</li> <li>曲想と楽器の音色、演奏の仕方を理解している。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱表現についての知識や技能を生かしたりしながら、創意工夫して表現している。</li> <li>器楽表現についての知識・技能を生かしたりしながら、曲の雰囲気合った表現を工夫している。</li> </ul> <p>【主体的に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音や音楽を生活や社会に生かそうとし、主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱 あくびの歌 校歌 夏の思い出 花 さとうきび 畑、他 器楽 Stand By Me ラデッキー 行進曲 身体表現 マイムマイム 鑑賞 動物の謝肉祭 リベルタンゴ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口形や呼吸、姿勢を確認しながら正しい発声で歌う。</li> <li>歌詞の内容や曲の雰囲気との関連について気付いたことを発表する。</li> <li>いろいろな楽器の演奏を体験し、得意な楽器を見つける。</li> <li>いろいろなリズムや速度で演奏する。</li> <li>範唱、範奏を聴き練習する。</li> <li>曲を聴いて感じたことを発表する。</li> </ul>
2 学期	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や情景をイメージしてのびのびと歌唱することができる。</li> <li>打楽器や鍵盤楽器の奏法を身に付ける。</li> <li>友達の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏することができる。</li> <li>音楽を聞きながら体を使って表現することができる。</li> <li>郷土の音楽や様々なジャンルの音楽に親しむ。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲名や曲の雰囲気と音楽との構造の関わりについて理解している。</li> <li>発声や言葉の発音を意識し歌っている。</li> <li>リズムや速度、音色を意識して演奏している。</li> <li>音や音楽を聴いて様々な動きを組み合わせる身体表現している。</li> <li>曲想及びリズムと速度、旋律の特徴との関わりが分かる。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱表現、器楽表現についての知識や技能を生かしながら、曲の雰囲気合った表現を工夫している。</li> <li>リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ、工夫して体を動かしている。</li> <li>曲や演奏の良さを味わいながら聴いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱 里の秋 夢の世界 野ばら おおシャンゼリゼ 器楽 いつも何度でも 木星 鑑賞 交響曲第9番 ウェストサイドストーリー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伴奏の雰囲気合った発声で歌う。</li> <li>音程や歌詞の情景をイメージしながら歌う。</li> <li>いろいろな楽器の奏法を体験する。</li> <li>強弱を意識し、いろいろなリズムや速度で演奏する。</li> <li>友達と音を合わせて演奏する。</li> <li>範唱、範奏を聴き練習する。</li> <li>曲を聴いて感じたことを発表する。</li> </ul>

			<p><b>【主体的に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音や音楽を生活や社会に生かそうとし、主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組もうとする。</li> </ul>		
3 学期	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミュージックコンサートに向け協働して取り組む。</li> <li>音楽を通して季節の歌を知り、情趣を味わう。</li> <li>楽器に触れ奏法を体験する。</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲名や曲の雰囲気と音楽との構造の関わりについて理解している。</li> <li>歌詞やリズム、身体の使い方等を理解し歌唱表現している。</li> <li>リズムや速度、音色を意識して演奏している。</li> <li>音や音楽を聴いて様々な動きを組み合わせる身体表現している。</li> <li>曲想とリズムと速度、旋律の特徴との関わりが分かる。</li> </ul> <p><b>【思考力・判断力・表現力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱表現、器楽表現についての知識や技能を生かしながら、曲の雰囲気に合った表現を工夫している。</li> <li>リズムの特徴や曲の雰囲気を感知、工夫して体を動かしている。</li> <li>曲や演奏の良さを味わいながら聴いている。</li> </ul> <p><b>【主体的に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音や音楽を生活や社会に生かそうとし、主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミュージックコンサート</li> <li>歌唱</li> <li>卒業式のうた</li> <li>器楽</li> <li>日本の楽器に触れてみよう</li> <li>管打楽器に触れてみよう</li> <li>鑑賞</li> <li>くるみ割り人形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習したことを発表する。</li> <li>友達の演奏を聴き感じたことを発表する。</li> <li>いろいろな楽器に触れ、工夫して演奏する。</li> <li>曲想や歌詞の内容とのつながりについて考える。</li> </ul>

令和7年度 美術 II課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒			担当者
70		2年、3年			
年間目標 小3段階		(知及技)様々な材料や用具を使い、工夫して絵をかいたり、作品をつくったりすること。 (思判表力)材料や、感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったこと から表したいことを思い付くこと。 (学・人)主体的に造る喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	22	体験したことを表現することができる。	【知・技】用具の使い方を理解し作品を作ることができたか。 【思・判・表】フロアバレーなどの体験をイメージし、表現できたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	ポスター制作	・フロアバレーや就業体験からイメージを膨らませる ・紙や描画材を使って表現する
2学期	22	粘土を使った造形をするなかで、素材の特性を理解する。	【知・技】用具の使い方を理解し作品を作ることができたか。 【思・判・表】手を動かしながら、イメージした形を表現できたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	粘土での造形	・粘土作り ・土器作り ・釉薬かけ
	8	様々な素材を組み合わせ、テーマに沿ったポスターを作る。	【知・技】用具の使い方を理解し作品を作ることができたか。 【思・判・表】手を動かしながら、イメージしたポスターを表現できたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	ポスター制作	・ポスターについて ・ポスターの制作 ・掲示
3学期	18	共同制作を通して制作する喜びを味わう。	【知・技】用具の使い方を理解し作品を作ることができたか。 【思・判・表】周りの制作にも興味を持ち、自分の制作と関連付けることができたか。 【主学】共同制作をする中で、主体的にコミュニケーションをとることができたか。	卒業式装飾	・装飾する作品の制作 ・舞台での装飾

令和7年度 保健体育 II課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		2年、3年			
年間目標		<p>(知・技) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その特性に応じた 行い方及び体の発育・発達や けがの防止、病気の予防など の仕方が分かり、基本的な動 きや技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思・判・表) 各種の運動や健康な生活 における自分の課題を見付 け、その解決のための活動を 考えたり、工夫したりしたことを 他者に伝える力を養う。</p> <p>(学・人)各種の運動に進んで取り 組み、きまりや簡単なスポーツ のルールなどを守り、友達と 協力したり、場や用具の安全に 留意したりし、最後まで楽しく運 動をする態度を養う。また、健 康・安全の大切さに気付き、自 己の健康の保持増進に進んで 取り組む態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の行い方が分かる。</li> <li>・考えたこと工夫したことを他者に伝えることができる。</li> <li>・きまりを守り、友達と協力することができる。</li> </ul>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の行い方が分かり、動きを持続することができたか。</li> </ul> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の考えや工夫したことを他者に伝えることができたか。</li> </ul> <p>【主学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりやマナーを守り、友達と協力して安全に活動に取り組むことができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体づくり運動</li> <li>準備体操</li> <li>5分間走</li> <li>体ほぐし運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伸び伸びとした動作で用具などを用いた運動を行う</li> <li>・教師が体の部位や力の入れ方、動作を伝え、体の動かし方を伝える。</li> <li>・動作や関わる人数などの条件を変えて、歩いたり走ったりする運動を行う。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な動きや技能を身に付け、考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</li> <li>・活動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力し、場や用具の安全に留意することができる。</li> </ul>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な動きができたか。</li> </ul> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改善に向けて考えたり、工夫したりすることができたか。</li> </ul> <p>【主学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水中でのきまり、マナーを守り、友達と協力して安全に活動に取り組むことができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水泳</li> <li>準備体操</li> <li>水かけ</li> <li>水中を歩く</li> <li>もぐる</li> <li>浮く</li> <li>けのび</li> <li>バタ足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水をすくって体の様々な部分にかけたり、様々な方向に飛ばしたり、友達や教師とかけ合ったりする。</li> <li>・補助具や友達につかまり、体を伸ばした姿勢にして浮いて進む。</li> </ul>
2 学期	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの楽しさや喜びに触れ、音楽に合わせて楽しく踊ることができ、その楽しさや感じたことを表現することができる。</li> <li>・考えたこと、工夫したことを発表することができる。</li> </ul>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの行い方がわかり、基本的な動きや技能を身に付けることができたか。</li> <li>・音楽に合わせて、楽しく踊ることができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ダンス</li> <li>・フォークダンス</li> <li>・現代的なリズムのダンス</li> <li>・伝統的なダンス(エイサー)</li> <li>・曲に合わせてひと流れの動きで踊る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩急強弱のある動きや場面転換などで、変化をつけたひと流れの動きを行う</li> <li>・歩く、腕を振る、跳ぶなどの動きをリズムに合わせて行う。</li> <li>・日本の民謡や外国の踊りのそれぞれの踊り方</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスに進んで取り組み友達と協力し、最後まで楽しく運動をすることができる。</li> </ul>	<p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けて考え、工夫したことを発表することができたか。</li> </ul> <p><b>【学・人】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に取り組んでいるか。</li> <li>・友達と協力できたか。</li> <li>・最後まで楽しく運動ができたか。</li> </ul>		<p>の特徴を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊る。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技の行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易ゲームができる。</li> </ul>	<p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技の行い方がわかり基本的な動きや技能を身に付ける。</li> </ul> <p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けて、考え工夫することができたか。</li> </ul> <p><b>【学・人】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と協力し、きまりを守り、安全に気を付けることができたか。</li> </ul>	<p>○球技(サウンドテーブルテニス、グラウンドゴルフ)</p> <p>基本的なボール操作(打つ、止める、押し出す)</p> <p>簡易ゲーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール、ラケットやクラブの形状を確かめる。</li> <li>・ボールを転がす</li> <li>・ボールを止める。</li> <li>・ボールを打つ。</li> <li>・ボールを狙った場所に打つ。</li> <li>・簡単なルールでゲームを行う。</li> </ul>
3 学期	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上運動の基本的な動きや技能を身に付けること。</li> <li>・自分の課題を知り、考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。</li> <li>・陸上運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、安全を配り、最後まで楽しく運動をすることができる。</li> </ul>	<p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の時間や距離を決めて、走り続けることができたか。</li> </ul> <p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の意見を教師や友達に伝えることができたか。</li> </ul> <p><b>【学・人】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後まで粘り強く取り組むことができたか。</li> </ul>	<p>○陸上運動(持久走)</p> <p>持久走</p> <p>5分間走</p> <p>10分間走</p> <p>リズム走(生徒の走りやすいテンポで)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続して走る</li> <li>・一定のリズムに合わせて走る。</li> <li>・目標周回の設定(生徒が設定する)</li> </ul>

## 令和7年度 職業 II課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		2年、3年			
年間目標		<p>(知及技) 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付ける。</p> <p>(思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。</p> <p>(学・人) より良い将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	<p>【知及技】 働くことの目的などを理解することができる。</p> <p>【思判表力】 意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えることができる。</p> <p>【学・人】 作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。</p>	<p>【知・技】 様々な作業を通して、働くことについて理解している。</p> <p>【思・判・表】 自分の役割について考え、活動に取り組むことができる。</p> <p>【主学】 様々な作業に進んで取り組み、達成感を得ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの目的</li> <li>・清掃活動</li> <li>・製品作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業に関する実践的・体験的な学習活動</li> <li>・靴箱拭き、手すりふき、体育館のフロア拭き等。</li> <li>・ポチ袋づくり (つながっている点字本を一枚一枚切り離す。染める。折る、のり付け等)</li> </ul>
2 学期	28	<p>【知及技】 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付ける。</p> <p>【思判表力】 ・作業や実習における役割を踏まえて自分の成長や課題について考え、表現することができる。 ・情報モラルを踏まえ、コンピューター等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。</p> <p>【学・人】 作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。</p>	<p>【知・技】 様々な作業に必要な知識、技能を身に付けている。</p> <p>【思・判・表】 ・与えられた役割を理解している。 ・自分の成長や課題に気付くことができる。 ・情報機器を使って、発表用資料等の作成ができる。</p> <p>【主学】 様々な作業に進んで取り組み、達成感を得ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品作業</li> <li>・販売活動</li> <li>・情報機器の活用</li> <li>・清掃活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道具作成。</li> <li>・ポチ袋づくり (つながっている点字本を一枚一枚切り離す。染める。折る、のり付け等)</li> <li>・作成したものの販売。</li> <li>・販売時の役割について</li> <li>・接客の方法</li> <li>・情報機器を使った販売ポスターの作成や会計の集計、発表用資料の作成等。</li> <li>・特別教室やろうかななどの場所でのほうき、モップ等。</li> </ul>

3 学 期	18	<p><b>【知及技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。</li> <li>・作業の確実性、持続性、巧緻性等を身に付けることができる。</li> </ul> <p><b>【思判表力】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えることができる。</li> <li>・職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。</li> </ul> <p><b>【学・人】</b></p> <p>作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。</p>	<p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道具や機械等の扱い方を理解している。</li> <li>・作業の確実性、持続性、巧緻性等を身に付けている。</li> </ul> <p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に気を配り、効率的に作業ができる方法を考えることができた。</li> <li>・自己の余暇を充実させるための方法を考えることができた。</li> </ul> <p><b>【主学】</b></p> <p>様々な作業に進んで取り組み、達成感を得ることができている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動</li> <li>・販売商品づくり(スノーボールクッキー)</li> <li>・販売活動</li> <li>・余暇の過ごし方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワイパーを使用したの窓ガラス拭き。</li> <li>・作成したものの販売。</li> <li>・販売時の役割について</li> <li>・接客の方法</li> <li>・校外学習(余暇活動)</li> </ul>
-------------	----	--	---	--	---

令和7年度 家庭 II課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		2年、3年			
年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の成長と家族や家庭生活の関わり、地域の人々との協力の大切さがわかる。</li> <li>家族や地域の人とのよい関わりについて考え、工夫することができる。</li> <li>健康管理や余暇の有効な過ごし方について、考えることができる。</li> <li>乳幼児や高齢者に興味を持つ。</li> </ul>	<p>【知・技】 自分や自分を支える家族、地域の人々との関わりについて基本的な知識や技能を身に付けている。</p> <p>【思・判・表】 自分や自分を支える家族、地域の人々との関わりについて課題に気づき、解決方法を考えている。</p> <p>【主学】 自分や自分を支える家族、地域の人々との関わりをよりよいものにしていくために行動しようとしている。</p>	○家族・家庭生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の成長と家族</li> <li>家庭生活での役割と地域との関わり</li> <li>家庭生活における健康管理と余暇</li> <li>乳幼児の生活</li> <li>高齢者の生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな人たちに支えられて人生を歩んできたのか、今までの自分を振り返る。</li> <li>家庭生活が家族の協力によって成り立っていることに気づかせ、家庭生活で自分が果たす役割について考える。</li> <li>食事や睡眠と健康の関係についてデータ等をもとに知らせ、さまざまな余暇の過ごし方を体験する。</li> <li>身近な乳幼児や高齢者を思い出させ、どのように適切な関わり方を考える。</li> </ul>
2 学期	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分に必要な栄養素の種類と働きがわかる。</li> <li>基礎的な日常食の調理が適切にできる。</li> <li>食品や調理用具を安全と衛生に留意して、使用することができる。</li> <li>被服の材料や状態に応じて、日常着を適切に手入れすることができる。</li> <li>布を用いた簡単な小物の製作をすることができる。</li> </ul>	<p>【知・技】 食生活や衣生活についての基本的な知識や技能を身に付けている。</p> <p>【思・判・表】 食生活や衣生活についての課題に気づき、解決方法を考えている。</p> <p>【主学】 食生活や衣生活をよりよいものにしていくために行動しようとしている。</p>	○衣食住の生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な栄養を満たす食事</li> <li>日常食の調理</li> <li>衣服の手入れ</li> <li>布を用いた製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の中で食事が果たす役割を考え、身近な食材を五大栄養素別に分類する。</li> <li>いろいろな食材を触り、用途に応じた選び方を体験する。</li> <li>電子レンジやケトルを使った簡単な調理実習を行う。</li> <li>いろいろな種類の服を用意し、テーマに応じて、組み合わせを考える。</li> <li>汚れの種類に応じた洗剤の選び方や手入れ・保管方法を体験する。</li> <li>手縫いやミシン縫いで簡単な被服実習を行う。</li> </ul>
3 学期	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>住居の基本的な機能を理解し、住空間の安全や快適さについて考えることができる。</li> <li>購入・支払い方法の種類や特徴を知り、生活に活かすことができる。</li> <li>消費生活が環境や社会に及ぼす影響を考えることができる。</li> </ul>	<p>【知・技】 住生活や消費生活についての基本的な知識や技能を身に付けている。</p> <p>【思・判・表】 住生活や消費生活についての課題に気づき、解決方法を考えている。</p> <p>【主学】 住生活や消費生活をよりよいものにしていくために行動しようとしている。</p>	○衣食住の生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方</li> </ul> ○消費生活・環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>消費生活</li> <li>消費者の基本的な権利と責任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の生活と住空間との関わりを知り、快適で安定した住空間について考える。</li> <li>自分の生活の振り返り、出入りしているお金にはどのようなものがあるかを考える。</li> <li>学校周辺のスーパーに足を運び、セルフレジや電子マネーの使い方等、いろいろな方法で買い物を行う。</li> </ul>

令和7年度 外国語 II課程 A 年間指導計画

配当時数	生徒について			担当者	
70	2年、3年				
年間目標	<p>(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心を持ち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる。</p> <p>(思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。</p> <p>(学・人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとすることができる。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	<p>【知及技】英語の基本的な表現に慣れ親しむ。</p> <p>【思判表力】英語で挨拶ができる。</p> <p>【学・人】英語でコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>【知・技】英語の基本的な表現に慣れ親しんでいる。</p> <p>【思・判・表】英語で挨拶をしている。</p> <p>【主学】英語でコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Hello, Good-bye</li> <li>• Thank you, I'm sorry</li> <li>• Please～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 基本的な挨拶を覚える。</li> <li>• お礼の言い方や謝り方を身につける。</li> <li>• 依頼する。</li> </ul>
2学期	28	<p>【知及技】英語の様々な表現に慣れ親しむ。</p> <p>【思判表力】身近な物事を英語で表現できる。自分の好きなことを英語で表現できる。</p> <p>【学・人】英語でコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>【知・技】英語の様々な表現に慣れ親しんでいる。</p> <p>【思・判・表】身近な物事を英語で表現しようとしている。知っている単語や表現を用いて、自分の好きなことを英語で表現しようとしている。</p> <p>【主学】相槌を打つ、知っている単語を用いるなどして英語でコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Sunday, Monday・・・</li> <li>• January, February・・・</li> <li>• sunny, cloudy,・・・</li> <li>• one, two, three・・・</li> <li>• big, small・・・</li> <li>• I like～</li> <li>• I don't like～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 曜日の言い方を覚える。</li> <li>• 1月から12月の言い方を覚える。誕生日の言い方を覚える。</li> <li>• 天気の違い方を覚える。</li> <li>• 数を表現する。</li> <li>• 大きさや形を表現する。</li> <li>• 好きなものや苦手なものを伝える。</li> </ul>
3学期	18	<p>【知及技】英語の様々な表現が示す内容を知り、それらを使うことができる。</p> <p>【思判表力】自分の気持ちを表現できる。</p> <p>【学・人】相手に配慮しながら英語でコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>【知・技】英語の様々な表現が示す内容を知り、それらを使っている。</p> <p>【思・判・表】自分の気持ちを表現しようとしている。</p> <p>【主学】相手に配慮しながら積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• I'm happy, I'm tired.</li> <li>• I want to～, I don't want to～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の気持ちや状態を表現する。</li> <li>• 自分のやりたいこと、やりたくないことを伝える。</li> </ul>

令和7年度 情報 II 課程A 年間指導計画

配当時数	生徒について		担当者		
70	2年、3年				
年間目標	<p>(知及技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。</p> <p>(思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。</p> <p>(学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えることができる。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある情報や情報技</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアリテラシーについて考えている。</li> <li>・PCの簡単な操作(電源のオンオフ、キーボード、マウスの操作)をしている。</li> <li>・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。</li> </ul> <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSトラブル、ネット炎上等の事例で学び、加害者、被害者にならないよう注意する点を理解している。</li> <li>・個人情報とは何か具体的に説明できる。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラルについての理解を深め「相手の気持ちを</li> </ul>	<p>情報とメディア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報とメディアという言葉について考えよう。</li> <li>情報の偏りと評価</li> <li>・匿名性・信憑性</li> <li>・マスメディア</li> <li>・メディアの利用</li> </ul> <p>情報モラル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラルとは</li> <li>・相手を考えたコミュニケーション</li> <li>・加害者にならないために</li> <li>・炎上とネットいじめ(誹謗中傷)</li> <li>・個人情報</li> <li>・ネット依存</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報とメディアという言葉について考える。</li> <li>・情報の偏りと評価(情報操作、信憑性)についてデマメール等の事例を活用し学習する。</li> <li>・メディアリテラシー(情報の信憑性や価値を正確に判断できる能力)について考える。</li> <li>・PCの基本的な操作を学ぶ。(電源のオンオフ、各種アプリの操作)</li> <li>・検索エンジンの利</li> <li>・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人を不快にさせない」情報は拡散しやすく蓄積される(簡単に消すことはできない)。</li> <li>・SNSトラブル事例(動画)を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。</li> <li>・個人情報(住所、氏名、</li> </ul>

		<p>術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>考えたコミュニケーション」を心掛けている。</p> <p>[評価資料] ・活動の様子 ・タイピング</p>		<p>電話番号、写真…) 個人を特定できるものすべてが個人情報であることを理解する。</p>
2 学 期	28	<p>(知及技) ・身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知ることができる。</p> <p>(思判表力) ・身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。</p> <p>(学・人) ・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・匿名性、記録性の意味を理解している。 ・情報機器の普及、発達により、表現活動が多様化していることを理解している。</p> <p>(思・判・表) ・携帯電話やタブレット端末の利用で個人が情報を発信することが容易になっていることを理解している。</p> <p>(主学) ・情報を加工し発信する方法が分かり、意見を交換し作品を作ることができる。</p> <p>[評価資料] ・活動の様子 ・作品、提出物</p>	<p>・インターネットの匿名性 ・会員カードやポイントカードの個人情報</p> <p>・ネットワークで広がる世界 ・情報共有サイト(SNS、動画共有サイト等)</p>	<p>・CMCでは個人を特定する情報を隠すことが可能…匿名性、しかし利用者は匿名のつもりでも情報発信は記録が残る。プロバイダ責任制限法(誹謗中傷や著作権侵害等の被害があればプロバイダに発信者の開示を請求できる。)</p> <p>・かつては不特定多数の人々に対して個人が情報を発信する手段は限られていたが、今日では比較的簡単に、費用もほとんどかからない。ソーシャルメディアの利用で情報発信の形が変化している。</p> <p>・コンピュータグラフィクス、バーチャルリアリティを活用した産業分野、学術分野の発展。</p> <p>・正確な情報発信のために5W1Hを活用する。 ※情報モラルについては</p>

					年間を通して適宜取り上げ学習する。
3 学期	18	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知ることができる。</li> </ul> <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えることができる。</li> </ul> <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。</li> </ul>	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアリテラシーについての理解を深めようとしている。</li> <li>・iPadの簡単な操作（電源のオンオフ、アプリの操作）をしている。</li> <li>・検索エンジンを使い必要な情報を検索している。</li> </ul> <p>※活動の様子で評価。</p> <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報とは何か理解しようとしている。</li> </ul> <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「相手の気持ちを考えたコミュニケーション」を心掛けている。</li> </ul> <p>[評価資料]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の様子</li> <li>・作品、提出物</li> </ul>	<p>情報とメディア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアの利用</li> </ul> <p>情報モラル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報 3</li> <li>・ネット依存 3</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・iPadの基本的な操作を学ぶ。電源のオンオフ、各種アプリの操作。</li> <li>・検索エンジンの利用</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラルの基本は「他人に迷惑をかけない」「他人を不快にさせない」</li> <li>・SNSトラブル事例（動画NHKforschoolより）を視聴し加害者にならないよう注意する点を学習する。</li> <li>・個人情報（住所、氏名、電話番号、写真…）むやみに公開してはならないことを学ぶ。個人情報カード教材を利用し「教えてはいけない」情報の理解を促す。</li> </ul>

令和7年度 道徳科 II課程A 年間指導計画

配当時数	生徒	担当者
35	2学年 3学年	

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人との関わりの中で、道徳的な価値に気づいたり、感じたりして、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。</li> <li>・他人を思いやり、励まし合うとともに、互いの理解を深め、協力し合う心を育てる。</li> <li>・個性を生かし 社会の形成に参画する意欲や態度を養う。</li> </ul>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。</li> <li>・誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時と場合に応じた挨拶がどのような挨拶か考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学期を迎えて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時と場に応じた適切な挨拶や言葉遣い、態度について学習する。</li> <li>・学級内での個々の役割を決める。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見・考えを発表し、他人の話聞くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級内で協力するにあたって、自分の意見をもち、発表しようとしたり、他人の話に耳を傾けたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な仲間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級で協力し合う事柄について話し合う。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間を大切に、学ぶ姿勢を身につける。</li> <li>・学級の一員として、自己の役割をきちんと果たす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間を大切にする姿勢を身につけようとしている。</li> <li>・学級での自分の役割を把握し、それらに主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の役割と他者との協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立てて行動する習慣について話し合う。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の生活を通して家族への感謝の心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の生活を振り返って、家族への感謝の気持ちを言葉にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりと感謝の心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に対して思いやりと感謝の気持ちを持ち、カードなどで感謝のメッセージを書く。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の大切さを知り、時間の見直しをもって行動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の大切さについて考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の大切さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を効率的に使うことの大切さについて話し合う。</li> </ul>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去・現在から戦争の悲惨さを知り、平和を望む心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄戦の学習に取り組み、戦争の悲惨さについて自分の考えを持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和講話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄戦について学習する。</li> </ul>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の夏休みの生活に関心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の夏休みの計画を考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みを前に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの過ごし方について、個々の計画を語る。</li> </ul>

2 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの個性を認めることを知る。</li> <li>・高齢者や目上の人たちへの尊敬の意をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の長所を見つけお互いの個性を認めようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権とは何か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の長所をみつけながら関わることを学習する。</li> <li>・新聞などの記事を読んで考える。</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の一員として、自己の役割をきちんと果たす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の一員として、自己の役割を果たすためにすべきことを知ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の役割と他者との協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自のやるべき事を意識し、自ら行動できる。</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの大切さを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な家族に働くことのインタビューをして、働くことの大切さを言葉にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労の喜びと感謝の心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く人々にインタビューし、働くことの大切さや難しさを知る。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な心と体について考え、リラックスできる時間をつくることの大切さを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な心と体について考え、リラックスできる時間を見つけようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の尊さを知ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生として必要な心と体の健康に関する知識。ストレス解消法などを知る。</li> <li>・バランスのとれた食生活について学習する。栄養などについて考える。</li> </ul>
3 学期	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と関わる周辺の人たちについて語る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分とかわかる人々を通して、自分自身が社会でできることを考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を見つめて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら積極的に社会参加するために、自分に関わる。周辺の人たちの働きを知る。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心のこもった対応の大切さを知り、誰に対しても心を込めて接する態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心のこもった対応の大切さを知り、積極的に挨拶をしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・礼儀正しさについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつや接客についての学習をする。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間を振り返って自己の成長を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間の自分の成長を言葉にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の成長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の自分と今の自分を比較し、成長を感じる。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 総合的な探究の時間 II 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		2年、3年			
年間目標		<p>探求的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、資質・能力を育成する。</p> <p>(知及技) 地域の人、もの、ことに関わる探求的な学習過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気づく。</p> <p>(思判表力) 地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調べて得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことの根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。</p> <p>(学・人) 地域の人、もの、ことについての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自ら進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 5 3学期	35	<p><b>【知及技】</b> ・働くことの目的などを理解することができる。 ・課題解決に必要な知識、技能を身に付けることができる。</p> <p><b>【思判表力】</b> 課題解決に向けて、調べて得た情報をもとに、仮説を立てたり、考えたりする力を身に付けることができる。</p> <p><b>【学・人】</b> 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に、意欲的に取り組むことができる。</p>	<p><b>【知・技】</b> ・日々学習していることと今の生活やこれからの生活につながっていることを理解できる。 ・課題解決に必要な知識、技能を身に付けることができたか。</p> <p><b>【思・判・表】</b> 自己の課題を見つけ、解決方法を考えて追求することができる。 目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めることができる。</p> <p><b>【主学】</b> 課題の解決に向けて目的意識を持ち、身近な人と力を合わせて探求活動に意欲的に取り組もうとする。 自分のよさや自分にできることに気づくとともに、自分と異なる意見や考えがあることに気づき相手の立場を理解しようとする。</p>	<p>①職業や自己の進路に関する課題</p> <p>②地域や学校の特色に応じた課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くために必要なこと</li> <li>・自分の得意なこと、苦手なこと</li> <li>・自分のことを相手に伝えよう</li> <li>・職場で困ったときにどうするか</li> <li>・身だしなみ</li> <li>・TPOに応じた服装</li> <li>・気持ちのよいあいさつ</li> <li>・言葉遣い、敬語の種類と使い方</li> <li>・よい人間関係とは</li> <li>・仕事がうまくいっている人の特徴</li> <li>・家族の仕事・身近な人の仕事</li> <li>・インタビュー</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の住む地域について</li> <li>・地域と学校との関わりについて</li> <li>・インタビュー</li> <li>・体験的な活動</li> </ul>

令和7年度 LHR II課程A 年間指導計画

配当時数		生徒			担当者
35		2年、3年			
年間目標		(知及技)学級で決められた役割を理解し、責任をもって行動することができる。 (思判表力) 学校生活をよりよく過ごすための課題解決に向けて、話し合いをすることができる。 (学・人)学級活動や行事へ主体的に参加し、学び得たことを今後の生活に活かすことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい学級に慣れる。</li> <li>・個人目標を決める。</li> <li>・学級での自分の役割を確認する。</li> <li>・遠足について振り返る。</li> <li>・平和について考える。</li> <li>・実習先や就業体験の目的を確認する。</li> <li>・1学期の振り返りを行う。</li> </ul>	<b>【知・技】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつや返事ができる。</li> <li>・人の話を静かに聞くことができる。</li> <li>・教室をきれいに清掃することができる。</li> </ul> <b>【思・判・表】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事の目的や内容を</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級開き</li> <li>・1学期個人学級目標決め</li> <li>・学級係活動</li> <li>・春の遠足事後学習</li> <li>・平和学習</li> <li>・就業体験事前・事後学習</li> <li>・1学期を振り返って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や自己紹介など</li> <li>・個人目標、学級目標を話し合っ決めて、掲示物作成を行う。</li> <li>・遠足の感想文を発表する。</li> <li>・平和学習で学んだことを振り返る。</li> <li>・キャリアパスポートを使って、実習の振り返りをする。</li> <li>・1学期を振り返りながら、楽しかったことや学んだことを発表する。</li> </ul>
2学期	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しを持って2学期をスタートする。</li> <li>・運動会に向けて、意欲的に活動をする。</li> <li>・自分の進路について考える。</li> <li>・2学期の振り返りを行う。</li> </ul>	確認できる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に気をつけて、活動できる。</li> <li>・積極的に自分の考えを発表できる。</li> </ul> <b>【主学】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に授業に参加できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の活動計画、個人目標決め</li> <li>・運動会</li> <li>・進路学習</li> <li>・2学期を振り返って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の行事を確認する。</li> <li>・運動会に向けて、練習や準備を行う。</li> <li>・進路講話の振り返りを行う。</li> <li>・2学期を振り返り、発表する。</li> </ul>
3学期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しを持って3学期をスタートする。</li> <li>・過去の活動を振り返り、1年間を振り返る。</li> <li>・進級後や卒業後の目標を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と協力して活動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期の活動計画、個人目標決め</li> <li>・進級・卒業に向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学期の行事を確認する。</li> <li>・1年間の振り返りを行う。</li> <li>・今年度の反省と進級に向けての抱負を発表する。</li> </ul>
随時		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の清掃を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分担して清掃する。</li> </ul>

令和7年度 国語科 II課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
70		3年			
年間目標		<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(知及技)日常生活に必要な国語について、その特質を知り使うことができるようにする。</p> <p>(思判表力)日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。</p> <p>(学・人)言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1・2学期	52	身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気づくこと。	<p>【知識・技能】日常生活に必要な身近な言葉が分かり行動することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】対象物に注意を向け、対象物の存在に着目し、諸感覚を協応させながら捉えることができる。</p> <p>【主体的に取り組む態度】言葉で表すことのよさを感じ、言葉を使おうとする態度を表すことができる。</p>	自己紹介 絵本読み聞かせ (季節、行事等) 沖縄のことば ものの名前 弁論大会に向けて	自己紹介をする。 季節の絵本や行事から関係する言葉を学習する。 短い文章を暗証する。 沖縄の言葉について学習する。 ものの名前、場所、活動を表す言葉を学習する。
3学期	18	身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気づくこと。	<p>【知識・技能】日常生活に必要な言葉を身に付けるとともに、いろいろな言葉に触れ親しむことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】言葉が表す事柄を想起したり、受け止める力を養い、人との関わりの中で自分の思いを伝えようとするすることができる。</p> <p>【主体的に取り組む態度】教師の話しかけに表情や身振りで反応することができる。</p>	絵本読み聞かせ (季節、行事等) 沖縄のことば ものの名前 場所、行動を表す言葉	季節の絵本や行事から関係する言葉を学習する。 沖縄の言葉について学習する。 ものの名前、場所、活動を表す言葉を学習する。

令和7年度 社会 II課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
70		3年			
年間目標		<p>(知及技)活動や体験の過程において自分自身や身近な人々、社会のよさに気づくとともに生活に必要な習慣や技能を身につける。</p> <p>(思判表力)生活面など学んだこと自身で表現することができる。</p> <p>(学・人)自分の事に取り組んだり、身近な人々に働きかけ、意欲をもって学んだりすることができる。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な身辺処理がわかり身近な生活に役立てようとする事。(知及技)</li> <li>身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身につける。(思判表)</li> <li>自分の事に取り組みながら、身近な人々にも働きかけ、意欲をもって学ぶことができる。(学・人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な身辺処理がわかり身近な生活に役立てようとする事ができた。(知及技)</li> <li>身近な生活に必要な身辺処理に関する基礎的な知識や技能を身につける事ができた。(思判表)</li> <li>自分の事に取り組みながら、身近な人々にも働きかけ、意欲をもって学ぶ事ができた。(学・人)</li> </ul>	自分のことは自分でやろう！	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の言葉かけにより自分でやるべきことを意識して、見通しを持って身辺処理(トイレ、手すり歩き、カバンの開け閉めなど)を行う。触ること、教師の言葉を聞くことから活動を自分事として受け止めるような活動を行う。</li> </ul>
2 学期	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な日課や予定がわかり教師の援助を求めながら日課に沿って行動しようとする事。(知及技)</li> <li>身近な日課や予定について知る。(思判表)</li> <li>自分の事に取り組みながら、身近な人々にも働きかけ、意欲をもって学ぶことができる。(学・人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な日課や予定がわかり教師の援助を求めながら日課に沿って行動できた。(知及技)</li> <li>身近な日課や予定について知ることができた。(思判表)</li> <li>自分の事に取り組みながら、身近な人々にも働きかけ、意欲をもって学ぶ事ができた。(学・人)</li> </ul>	わくわく！ 今から何する？	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の言葉かけやクラスでの教師の話から、午前中の流れや一日の流れの具体物を触りながら確認する。</li> <li>未来を予想しながら行動するような活動を行う。</li> </ul>
3 学期	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人を知り教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとする事。(知及技)</li> <li>身近な人との接し方などについて知ること。(思判表)</li> <li>身近な人々に働きかけ、意欲をもって学ぶことができる。(学・人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人を知り教師の援助を求めながら挨拶や話などができた。(知及技)</li> <li>身近な人との接し方などについて知ることができた。(思判表)</li> <li>身近な人々に働きかけ、意欲をもって学ぶ事ができた。(学・人)</li> </ul>	この人だれだ？話しかけてみよう！	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内のいろんな場所に行き、教師の支援をうけながら色々な人と話を行う。</li> <li>触ること、教師の言葉を聞くこと、未来を予想することなどこれまで学習してきたことを活かしながら活動を行う。</li> </ul>

令和7年度 数学 II課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		3年			
年間目標		<p>(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、日常の事象を数量や図形との関連に気づいて処理する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力)日常の事象の中から数量や図形を捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気づき感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。</p> <p>(学・人)数学的活動の楽しさに気づき、関心や興味をもち、数学で学んだことを学習で活用したり、生活の場面と結び付けたりしてよりよく問題を解決しようとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元名	単元の目標	単元の活動内容	単元の評価規準
1学期	24	数と計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>数に対する感覚を養い、ものの有無や数とその表現、数の関係を楽しみながら生活しようとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5個まで数えよう(物の有無や1個・2個・たくさん)</li> <li>みんなに配ろう(物と物との対応)</li> <li>どっちが多い(数の大小関係)</li> </ul>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボールや積み木を使って、1個、2個、たくさん、無しに気付くことができる。</li> <li>数を順番よく数え上げることができる。</li> </ul> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数のまとまりや数え方に気付くことができる。</li> <li>数詞と物との関係に注目することができる。</li> </ul> <p>【主学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関心を持って取り組もうとしている。</li> </ul>
2学期	28	図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのものの形に注目し、同じ形を捉えたり、形の違いを捉えたりする力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ形を探そう(いろんな図形)</li> <li>型はめをしてみよう(同じ形)</li> <li>丸、三角、四角を探そう(平面図形)</li> <li>円柱、円錐、多角柱、多角錐を探そう(立体図形)</li> </ul>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものの形ごとに分別することができる。</li> <li>形を区別して、同じものを選ぶことができる。</li> <li>同じものの集りを作ることができる。</li> </ul> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な情報から同質なものや類似したものに気付くことができる。</li> <li>同じ形や同じ大きさを見つけて、型にはめることができる。</li> </ul> <p>【主学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図形に気づき、関心をもって取り組もうとしている。</li> <li>いろんな形があることに気づき、興味を持って触察をしようとしている。</li> </ul>
3学期	18	測定	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りにあるものの大小、重い軽い、長い短いなどの量の違いについての感覚を養う。</li> <li>量の違いを感じ、量の大きさごとに区別することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均台を歩いてみよう(長い短い)</li> <li>シーソーに乗ってみよう(重い軽い)</li> <li>いろんなボール(大きい小さい)</li> </ul>	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大小や軽重、長短など、ものにはいろんな視点での違いがあることを理解できる。</li> </ul> <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きさや長さ、重さなど、いろんな基準による違いによって区別することができる。</li> </ul> <p>【主学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に体験活動に参加して、ものの違いを体で感じることで理解しようとしている。</li> </ul>

令和7年度 理科 II課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
70		3年			
年間目標		<p>(知及技) 自分自身、身近人々、社会・自然に関心を持つことができる。</p> <p>(思判表力) 身の回りの様子に気付き、感じたことを伝えることができる。</p> <p>(学・人) 自然を愛する心情を養い、学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	<p>(知及技) 身近なものや道具、自然に興味をもって関わる。工夫して遊ぶことができる。</p> <p>(思判表力) 自然に触れて、その美しさや不思議さなどに気付く。自分の感じたことを表現する。</p> <p>(学・人) 感心を示すもの(刺激)を増やす。心地よく活動できる範囲を広げる。</p>	<p>(知・技) 活動中の刺激に対して声、動作(表情)等の変化で反応している。</p> <p>(思・判・表) 特定の刺激に対して繰り返して同じ動作で表現している。</p> <p>(主・学) 特定の活動、刺激を何らかの行動で要求している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学に関する新聞記事の音読を聞く</li> <li>・校庭散策</li> <li>・沖縄の生物の鳴き声を聞く</li> <li>・植物を育てる</li> <li>・育てた野菜を食べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学に関する新聞記事の音読を聞く。</li> <li>・沖縄の生物の鳴き声を聞いて楽しむ。</li> <li>・実際に身近な自然を体験する。校庭で植物に触れたり匂いをかいだりする活動を行う。</li> <li>・植物の栽培を行う。プランターに土の準備、苗植え、水やりを一緒に行う。</li> <li>・気温や天気、季節の変化に気付く活動をする。</li> <li>・生徒の反応に気を配り、注視する。</li> </ul>
2学期	28	<p>(知及技) 身の回りの生命や自然、ものの仕組みを感じ、状況の変化に関心を持つ。</p> <p>(思判表力) 身の回りの生命や自然、ものについて気付き伝えようとする。</p> <p>(学・人) 感心を示すもの(刺激)を増やす。心地よく活動できる範囲を広げる。</p>	<p>(知・技) 活動中の刺激に対して声、動作(表情)等の変化で反応している。</p> <p>(思・判・表) 活動中の刺激に応じて異なる動作で表現している。</p> <p>(主・学) 活動に対して好適な反応(表現等)を示している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭散策</li> <li>・麦茶を作り、配る</li> <li>・魚釣りゲームで遊ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に身近な自然を体験する。校庭で植物に触れたり匂いをかいだりする活動を行う。</li> <li>・気温や天気、季節の変化に気付く活動をする。</li> <li>・温度が違う物質(お湯、水、氷)で麦茶を作り、人と接する活動を行う。</li> <li>・磁石、ヒモ、棒、竹など手触りの違うものを使って魚釣りゲーム</li> </ul>

					<p>を作り、人と接する活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の反応に気を配り、注視する。</li> </ul>
3 学期	18	<p>(知及技) 身の回りの生命や自然、ものの仕組みを感じ、状況の変化に関心を持つ。</p> <p>(思判表力) 身の回りの生命や自然、ものについて気付き伝えようとする。</p> <p>(学・人) 感心を示すもの(刺激)を増やす。</p> <p>心地よく活動できる範囲を広げる。</p>	<p>(知・技) 活動中の刺激に対して声、動作(表情)等の変化で反応している。</p> <p>(思・判・表) 活動中の刺激に応じて異なる動作で表現している。</p> <p>(主・学) 活動に対して好適な反応(表現等)を示している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭散策</li> <li>・心臓の音を聴こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に身近な自然を体験する。校庭で植物に触れたり匂いをかいだりする活動を行う。</li> <li>・気温や天気、季節の変化に気付く活動をする。</li> <li>・自分の体、他の人の体に関する活動をする。(体を触る、動かす、音を聞く等)を通して、人と接する。</li> <li>・生徒の反応に気を配り、注視する。</li> </ul>

令和7年度 音楽 II課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
105		3年			
年間目標		<p>(知及技)様々な音楽活動を通して、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力)音楽のよさや美しさを自分なりに感じ、音楽を味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(学・人)音楽活動の楽しさを体験し、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かにしていく態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伴奏に合わせて発声することができる。</li> <li>・フレーズごとに歌詞を覚え歌うことができる。</li> <li>・いろいろな楽器に親しむ。</li> <li>・音楽に合わせて演奏することができる。</li> <li>・教師と一緒に楽しく身体表現ができる。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽を感じて声や楽器の音を出したり、体を動かしたりすることができる。</li> <li>・範唱や範奏を聴いて、曲の一部分を歌や楽器で演奏することができる。</li> <li>・身近な人の演奏を見たり聴いたりしながら、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。</li> <li>・身近な打楽器などに親しみ音を出そうとすることができる。</li> </ul> <p>【主体的に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽に関心を持ち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱 あくびの歌 校歌 浜辺の歌 月桃 さとうきび 畑他</li> <li>・器楽 手拍子リレー きらきら星 変奏曲 パッヘルベルのカノン 他</li> <li>・身体表現 ボディパーカッション</li> <li>・鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口形や呼吸、姿勢を確認しながら正しい発声で歌う。</li> <li>・歌詞の内容や曲の雰囲気との関連について気付いたことを発表する。</li> <li>・いろいろな楽器の演奏を体験し、得意な楽器を見つける。</li> <li>・いろいろなリズムや速度で演奏する。</li> <li>・範唱、範奏を聴き練習する。</li> <li>・曲を聴いて感じたことを発表する。</li> </ul>
2 学期	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の音楽や様々なジャンルの音楽に親しむ。</li> <li>・フレーズごとに歌詞を覚え歌うことができる。</li> <li>・いろいろな楽器の奏法を経験する。</li> <li>・担当する楽器を意識し、協働して合奏することができる。</li> <li>・音楽を聞きながら友達や教師との触れ合い</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽を感じて声や楽器の音を出したり、体を動かしたりすることができる。</li> <li>・範唱や範奏を聴いて、曲の一部分を歌や楽器で演奏することができる。</li> <li>・楽器の音色の違い、リズム、速度や強弱の違いに気付き演奏することができる。</li> <li>・身近な人の演奏を見たり聴いたりしながら、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱 夏の思い出 エーデルワイス アメイジング ググレイス 他</li> <li>・器楽 カルメン前奏曲 ラデッキー 行進曲 他</li> <li>・身体表現 リトミック</li> <li>・鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伴奏の雰囲気に合った発声で歌う。</li> <li>・音程や歌詞の情景をイメージしながら歌う。</li> <li>・いろいろな楽器の奏法を体験する。</li> <li>・強弱を意識し、いろいろなリズムや速度で演奏する。</li> <li>・友達と音を合わせて演奏する。</li> </ul>

		を楽しむ。	歌おうとすることができる。 ・身近な楽器などに親しみ音を出そうとすることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・音や音楽に関心を持ち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組むことができる。		・範唱、範奏を聴き練習する。 ・曲を聴いて感じたことを発表する。
3 学期	24	・ミュージックコンサートに向け協働して取り組む。 ・音楽を通して季節の歌を知り、情趣を味わう。 ・楽器に触れ奏法を体験する。	【知識・技能】 ・音や音楽を感じて声や楽器の音を出したり、体を動かしたりすることができる。 ・範唱や範奏を聴いて、曲の一部分を歌や楽器で演奏することができる。 ・楽器の音色の違い、リズム、速度や強弱の違いに気付き演奏することができる。 ・身近な人の演奏を見たり聴いたりしながら、好きな音色や楽器の音を見つけることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌おうとすることができる。 ・身近な楽器などに親しみ音を出そうとすることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・音や音楽に関心を持ち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組むことができる。	・ミュージックコンサート ・歌唱 卒業式のうた ・器楽 日本の楽器に触れてみよう 管打楽器に触れてみよう ・鑑賞	・練習したことを発表する。 ・友達の演奏を聴き感じたことを発表する。 ・いろいろな楽器に触れ、工夫して演奏する。 ・曲想や歌詞の内容とのつながりについて考える。

令和7年度 美術 II課程B 年間指導計画

配当時数		生徒			担当者
105		3年			
年間目標 小 2段階		(知及技)さまざまな素材に触れて、特性や変化を理解する。 (思判表力)握る、ならべる、など造形の基礎的な活動の中で表現する。 (学・人)自分から素材に触れるなど、主体的に活動に取り組むことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	体験したことを表現する。	【知・技】好きな素材を選択し、ポスターを作ることができたか。 【思・判・表】体験したことを表現することができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	ポスター制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロアバレーを体験</li> <li>・ポスター制作</li> </ul>
2 学期	22	粘土を使った造形をするなかで、素材と関わる。	【知・技】土や粘土に触れて素材を理解できたか。 【思・判・表】土を使って、造形物を作ることができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	粘土での造形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泥に触れる</li> <li>・粘土作り</li> <li>・土器作り</li> </ul>
	8	様々な素材を組み合わせ、ポスターを作る	【知・技】様々なものに触れ、違いを理解できたか。 【思・判・表】好きな素材を選択し、ポスターを作ることができたか。 【主学】主体的に活動に取り組むことができたか。	ポスター制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな素材に触れる</li> <li>・ポスターの制作</li> <li>・掲示</li> </ul>
3 学期	18	コミュニケーションをしながら表現活動を行う。	【知・技】みんなで制作することを理解して取り組むことができたか。 【思・判・表】周りの制作にも興味を持ち、自分の制作と関連付けることができたか。 【主学】共同制作をする中で、主体的にコミュニケーションをとることができたか。	卒業式装飾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同で作品を作っていく</li> <li>・舞台への装飾</li> </ul>

令和7年度 保健体育 II課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
105		3年			
年間目標		<p>(知・技) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。</p> <p>(思・判・表) 基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(学・人) 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	36	<p>○体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動ができる</li> <li>・体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。</li> <li>・簡単な合図や指示に従って、楽しく基本的な体づくり運動をしようとする。</li> </ul>	<p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動の楽しさを感じることができたか。また、簡単な動きができたか。</li> </ul> <p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の気持ちを合図や反応などで他者に伝えることができたか。</li> </ul> <p><b>【主学】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合図や言葉かけに応じて、基本的な体づくり運動をすることができたか。</li> </ul>	<p>ラジオ体操(準備体操)</p> <p>5分間走×2</p> <p>体ほぐし運動(ボディーイメージ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伸び伸びとした動作で用具などを用いた運動を行う</li> <li>・教師が体の部位や力の入れ方、動作を伝え、体の動かし方を伝える。</li> <li>・動作や人数などの条件を変えて、歩いたり走ったりする運動を行う。</li> </ul>
		<p>○水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の支援を受けながら、楽しく水の中で運動し、その楽しさや感じたことを表現することができる。</li> <li>・簡単な合図や指示に従って、水のなかでの基本的な運動ができる。</li> </ul>	<p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく水の中で基本的な運動ができたか。</li> </ul> <p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳の楽しさや感じたことを表現することができたか。</li> </ul> <p><b>【主学】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な指示や合図を聞き安全に水の中での運動ができたか。</li> </ul>	<p>準備体操</p> <p>水かけ</p> <p>水中を歩く</p> <p>もぐる</p> <p>浮く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水をすくって体の様々な部分にかけたり、様々な方向に飛ばしたり、友達や教師とかけ合ったりする。</li> <li>・補助具や友達につかまり、体を伸ばした姿勢にして浮いて進む。</li> </ul>

2 学期	42	<p>○ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスの楽しさや喜びに触れ、音楽に合わせて楽しく踊ることができ、その楽しさや感じたことを表現することができる。</li> <li>・きまりを守り、仲間とともに安全に活動することができる。</li> </ul> <p>○球技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った運動やゲームができ、その楽しさを表現することができる。</li> <li>・きまりを守り、仲間とともに安全に活動することができる。</li> </ul>	<p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせて、楽しく踊ることができたか。</li> </ul> <p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみ方を工夫し、楽しさや感じたことを表現することができたか。</li> </ul> <p><b>【学・人】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守ることができたか。・仲間と協力して安全に活動することができたか。</li> </ul> <p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な動きを身に付けることができたか。</li> <li>・楽しくボールを使った運動やゲームをすることができたか。</li> </ul> <p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やゲームに慣れ、楽しさや感じたことを表現することができたか。</li> </ul> <p><b>【学・人】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守ることができたか。・安全に気を付けることができたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作ダンス</li> <li>・フォークダンス</li> <li>・エイサー</li> </ul> <p>基本的なボール操作(さまざまな道具を使う)</p> <p>簡易ゲーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩急強弱のある動きや場面転換などで、変化をつけたひと流れの動きを行う</li> <li>・歩く、腕を振る、跳ぶなどの動きをリズムに合わせて行う。</li> <li>・日本の民謡や外国の踊りのそれぞれの踊り方の特徴を学ぶ。</li> <li>・音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールや道具(ラケット、バッド、クラブなど)の形状を確かめる。</li> <li>・ボールを転がす</li> <li>・ボールを手で止める。</li> <li>・仲間とキャッチボール</li> <li>・ボールを投げる。</li> <li>・ボールを打つ。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なルールでゲームを行う。</li> </ul>
3 学期	27	<p>○球技(ビーンボウリング)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った運動やゲームができ、その楽しさを表現することができる。</li> <li>・きまりを守り、仲間とともに安全に活動することができる。</li> </ul>	<p><b>【知・技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しくボールを使った運動やゲームをすることができたか。</li> </ul> <p><b>【思・判・表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やゲームに慣れ、楽しさや感じたことを表現することができたか。</li> </ul> <p><b>【学・人】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりを守ることができたか。・安全に気を付けることができたか。</li> </ul>	<p>基本的な用具操作</p> <p>操作方法</p> <p>簡易ゲーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール、ピンセット、ボールの形状を確かめる。</li> <li>・ピンセットの使い方を知る。</li> <li>・ボールを転がすタイミングを知る。</li> <li>・簡単なルールでゲームを行う。</li> </ul>

令和7年度 職業 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		3年			
年間目標		(知及技) 職業に関する事柄について知るとともに、職業生活に係る技能を身に付ける。 (思判表力) 職業に必要な事柄に触れ、自己の気持ちや学習したことを伝えることができる。 (学・人) 仲間と協力して作業や実習等で達成感を得ること。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	<p><b>【知及技】</b> 作業を通して、道具の使い方や作業動作を知る。</p> <p><b>【思判表力】</b> 作業に当たり安全について気付くことができる。感じたことを表現することができる。</p> <p><b>【学・人】</b> 仲間と協力して活動に取り組み、達成感を得る。</p>	<p><b>【知・技】</b> 道具の使い方がわかる。作業動作がわかる。</p> <p><b>【思・判・表】</b> 好き、苦手などの表現ができる。教師の言葉かけに応じて、力の調整や危険回避ができる。</p> <p><b>【主学】</b> 仲間と協力して働くことの喜びを知ろうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動</li> <li>・運搬活動</li> <li>・生産活動 (ぼち袋作り等) (新聞折り)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図作り</li> <li>・リクエストBOX作り</li> <li>・ゴミ回収</li> <li>・手すり拭きや机拭き等</li> <li>・新聞折り</li> <li>・ポチ袋づくり</li> <li>・プラ板作り</li> </ul>
2学期	32	<p><b>【知及技】</b> 作業を通して、道具の使い方や作業動作を知る。</p> <p><b>【思判表力】</b> 作業に当たり安全について気付くことができる。感じたことを表現することができる。</p> <p><b>【学・人】</b> 仲間と協力して働くことができる。</p>	<p><b>【知・技】</b> 道具の使い方がわかる。作業動作がわかる。</p> <p><b>【思・判・表】</b> 好き、苦手などの表現ができる。教師の言葉かけに応じて、力の調整や危険回避ができる。</p> <p><b>【主学】</b> 仲間と協力して働くことの喜びを知ろうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動</li> <li>・運搬活動</li> <li>・生産活動 (ぼち袋作り等) (新聞折り)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ回収</li> <li>・手すり拭きや机拭き等</li> <li>・新聞折り</li> <li>・ポチ袋づくり</li> <li>・プラ板作り</li> </ul>
3学期	14	<p><b>【知及技】</b> 作業を通して、道具の使い方や作業動作を知る。</p> <p><b>【思判表力】</b> 作業に当たり安全について気付くことができる。感じたことを表現することができる。</p> <p><b>【学・人】</b> 仲間と協力して働くことの喜びを得る。</p>	<p><b>【知・技】</b> 作業を通して、働くことを知る。</p> <p><b>【思・判・表】</b> 好き、苦手などの表現ができる。教師の言葉かけに応じて、力の調整や危険回避ができる。</p> <p><b>【主学】</b> 仲間と協力して働くことの喜びを知ろうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ回収</li> <li>・運搬活動</li> <li>・清掃活動</li> <li>・生産活動 (ぼち袋作り等) (新聞折り)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ回収</li> <li>・手すり拭きや机拭き等</li> <li>・新聞折り</li> <li>・ポチ袋づくり</li> <li>・プラ板作り</li> </ul>

令和7年度 家庭 II課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
70		3年			
年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の成長と家族や家庭生活の関わり、地域の人々との協力の大切さがわかる。</li> <li>家族や地域の人とのよい関わりについて考え、工夫することができる。</li> <li>健康管理や余暇の有効な過ごし方について、考えることができる。</li> <li>乳幼児や高齢者に興味を持つ。</li> </ul>	<p>【知・技】 自分や自分を支える家族、地域の人々との関わりについて基本的な知識や技能を身に付けている。</p> <p>【思・判・表】 自分や自分を支える家族、地域の人々との関わりについて課題に気づき、解決方法を考えている。</p> <p>【主学】 自分や自分を支える家族、地域の人々との関わりをよりよいものにしていくために行動しようとしている。</p>	○家族・家庭生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の成長と家族</li> <li>家庭生活での役割と地域との関わり</li> <li>家庭生活における健康管理と余暇</li> <li>乳幼児の生活</li> <li>高齢者の生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな人たちに支えられて人生を歩んできたのか、今までの自分を振り返る。</li> <li>家庭生活が家族の協力によって成り立っていることに気づかせ、家庭生活で自分が果たす役割について考える。</li> <li>食事や睡眠と健康の関係についてデータ等をもとに知らせ、さまざまな余暇の過ごし方を体験する。</li> <li>身近な乳幼児や高齢者を思い出させ、どのように適切な関わり方を考える。</li> </ul>
2 学期	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分に必要な栄養素の種類と働きがわかる。</li> <li>基礎的な日常食の調理が適切にできる。</li> <li>食品や調理用具を安全と衛生に留意して、使用することができる。</li> <li>被服の材料や状態に応じて、日常着を適切に手入れすることができる。</li> <li>布を用いた簡単な小物の製作をすることができる。</li> </ul>	<p>【知・技】 食生活や衣生活についての基本的な知識や技能を身に付けている。</p> <p>【思・判・表】 食生活や衣生活についての課題に気づき、解決方法を考えている。</p> <p>【主学】 食生活や衣生活をよりよいものにしていくために行動しようとしている。</p>	○衣食住の生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な栄養を満たす食事</li> <li>日常食の調理</li> <li>衣服の手入れ</li> <li>布を用いた製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の中で食事が果たす役割を考え、身近な食材を五大栄養素別に分類する。</li> <li>いろいろな食材を触り、用途に応じた選び方を体験する。</li> <li>電子レンジやケトルを使った簡単な調理実習を行う。</li> <li>いろいろな種類の服を用意し、テーマに応じて、組み合わせを考える。</li> <li>汚れの種類に応じた洗剤の選び方や手入れ・保管方法を体験する。</li> <li>手縫いやミシン縫いで簡単な被服実習を行う。</li> </ul>
3 学期	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>住居の基本的な機能を理解し、住空間の安全や快適さについて考えることができる。</li> <li>購入・支払い方法の種類や特徴を知り、生活に活かすことができる。</li> <li>消費生活が環境や社会に及ぼす影響を考えることができる。</li> </ul>	<p>【知・技】 住生活や消費生活についての基本的な知識や技能を身に付けている。</p> <p>【思・判・表】 住生活や消費生活についての課題に気づき、解決方法を考えている。</p> <p>【主学】 住生活や消費生活をよりよいものにしていくために行動しようとしている。</p>	○衣食住の生活 <ul style="list-style-type: none"> <li>住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方</li> </ul> ○消費生活・環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>消費生活</li> <li>消費者の基本的な権利と責任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の生活と住空間との関わりを知り、快適で安定した住空間について考える。</li> <li>自分の生活の振り返り、出入りしているお金にはどのようなものがあるかを考える。</li> <li>学校周辺のスーパーに足を運び、セルフレジや電子マネーの使い方等、いろいろな方法で買い物を行う。</li> </ul>

令和7年度 外国語 II課程B 年間指導計画

配当時数		生徒について			担当者
35		3年			
年間目標		(知及技)外国語を用いた体験的な活動を通して、外国語の音声に慣れ親しむことができる。 (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語に触れる。 (学・人)外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、コミュニケーションを図ろうとすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	<b>【知及技】</b> 英語の基本的な表現に慣れ親しむ。 <b>【思判表力】</b> 英語での挨拶に身振りや発声などで応えることができる。 <b>【学・人】</b> 自分なりの方法で、コミュニケーションを図ることができる。	<b>【知・技】</b> 英語の歌や身近な単語などに慣れ親しんでいる。 <b>【思・判・表】</b> 英語での挨拶に身振りや発声など自分なりの方法で応えている。 <b>【主学】</b> 身振りや発声を通してコミュニケーションを図ろうとしている。	・英語の歌  ・Hello, Good bye ・Thank you, I'm sorry	・英語の歌を聞く。 ・身近な単語や基本的な表現を知る。 ・教師や友達と挨拶する。 ・英語の歌を聞く。
2 学期	14	<b>【知及技】</b> 英語の様々な表現に慣れ親しむ。 <b>【思判表力】</b> 教師と一緒に、好きなものを英語で表現する。 <b>【学・人】</b> 英語でコミュニケーションを図ることができる。	<b>【知・技】</b> 英語の様々な表現に慣れ親しんでいる。 <b>【思・判・表】</b> 教師と一緒に、身振りなどを交えて好きなことを表現している。 <b>【主学】</b> 相槌を打つ、ジェスチャーをするなどして英語でのコミュニケーションを図ろうとしている。	・ Sunday, Monday・・・ ・ January, February・・・ ・ sunny, cloudy,・・・ ・ one, two, three・・・ ・ big, small・・・ ・ I like～ I don't like～	・ 曜日の表現、歌。 ・ 1月から12月の表現、歌。 ・ 天気表現、歌。 ・ 数の表現、歌。 ・ 大きさや形の表現、歌。 ・ 好きなものや苦手なものの表現。
3 学期	9	<b>【知及技】</b> 英語の様々な表現が示す内容に慣れ親しむ。 <b>【思判表力】</b> 自分の気持ちを、身振りなどを交えながら表現できる。 <b>【学・人】</b> 自分なりの方法でコミュニケーションを図ることができる。	<b>【知・技】</b> 英語の様々な表現が示す内容を聞く。 <b>【思・判・表】</b> 教師と一緒に、身振りや発声を交えながら自分の気持ちを表現しようとしている。 <b>【主学】</b> 身振りや発声を交えて、英語でのコミュニケーションを図ろうとしている。	・ I'm happy, I'm tired. ・ I want to～, I don't want to～	・ 教師と一緒に、自分の気持ちや状態を表現する。 ・ 教師と一緒に、身振りや発声を交えながら自分のやりたいこと、やりたくないことを伝える。

令和7年度 道徳科 II課程B 年間指導計画

配当時数	生徒	担当者
35	3学年	

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人との関わりの中で、道徳的な価値に気づいたり、感じたりして、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。</li> <li>・身近な人々と協力して、互いの理解を深め、協力し合う心を育てる。</li> <li>・個性を生かし 社会の形成に参画する意欲や態度を養う。</li> </ul>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。</li> <li>・誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時と場合に応じた挨拶がどのような挨拶か考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学期を迎えて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時と場に応じた適切な挨拶や言葉遣い、態度について学習する。</li> <li>・学級内での個々の役割を決める。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見・考えを発表し、他人の話聞くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級内で協力するにあたって、自分の意見をもち、発表しようとしたり、他人の話に耳を傾けたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な仲間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級で協力し合う事柄について話し合う。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間を大切にし、学ぶ姿勢を身につける。</li> <li>・学級の一員として、自己の役割をきちんと果たす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間を大切にする姿勢を身につけようとしている。</li> <li>・学級での自分の役割を把握し、それらに主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の役割と他者との協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立てて行動する習慣について話し合う。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の生活を通して家族への感謝の心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の生活を振り返って、家族への感謝の気持ちを言葉にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりと感謝の心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に対して思いやりと感謝の気持ちを持ち、カードなどで感謝のメッセージを書く。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の大切さを知り、時間の見直しをもって行動できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の大切さについて考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の大切さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を効率的に使うことの大切さについて話し合う。</li> </ul>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去・現在から戦争の悲惨さを知り、平和を望む心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄戦の学習に取り組み、戦争の悲惨さについて自分の考えを持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和講話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄戦について学習する。</li> </ul>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の夏休みの生活に関心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の夏休みの計画を考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みを前に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの過ごし方について、個々の計画を語る。</li> </ul>

2 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの個性を認めることを知る。</li> <li>・高齢者や目上の人たちへの尊敬の意をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の長所を見つけお互いの個性を認めようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権とは何か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の長所を見つけながら関わることを学習する。</li> <li>・新聞などの記事を読んで考える。</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の一員として、自己の役割をきちんと果たす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の一員として、自己の役割を果たすためにすべきことを知ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の役割と他者との協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自のやるべき事を意識し、自ら行動できる。</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの大切さを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な家族に働くことのインタビューをして、働くことの大切さを言葉にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労の喜びと感謝の心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く人々にインタビューし、働くことの大切さや難しさを知る。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な心と体について考え、リラックスできる時間をつくることの大切さを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な心と体について考え、リラックスできる時間を見つけようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命の尊さを知ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生として必要な心と体の健康に関する知識。ストレス解消法などを知る。</li> <li>・バランスのとれた食生活について学習する。栄養などについて考える。</li> </ul>
3 学期	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と関わる周辺の人たちについて語る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分とかわかる人々を通して、自分自身が社会でできることを考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を見つめて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら積極的に社会参加するために、自分に関わる。周辺の人たちの働きを知る。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心のこもった対応の大切さを知り、誰に対しても心を込めて接する態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心のこもった対応の大切さを知り、積極的に挨拶をしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・礼儀正しさについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつや接客についての学習をする。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間を振り返って自己の成長を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年間の自分の成長を言葉にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の成長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の自分と今の自分を比較し、成長を感じる。</li> </ul>
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 LHR II課程B 年間指導計画

配当時数		生徒			担当者
35		3年			
年間目標		(知及技)(思判表力)学級の活動を通して与えられた役割に責任を持てるようにする。 (学・人)友達や教師と一緒に様々な行事に参加する中で、協働する力を身につける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	・新しい学級に慣れる。	<b>【知識・技能】</b> ①あいさつができる。 ②教師や仲間の話を静かに聞ける。 ③教室等をきれいにできる。  <b>【思考・判断・表現力】</b> ①各行事の内容を確認できる。 ②安全に気をつけて活動できる。 ③積極的に発表できる。	学級開き	・あいさつ、自己紹介などを行う。
	2	・個人目標、学級目標を決める。		個人・学級 目標 学級係活動	・個人目標、学級目標を話し合っ て決め、掲 示物作成を 行う。
	2	・学級での自分の役割を確認する。		校内・校外 探検	・学級での 係活動を確 認し、分担 する。
	2	・校内外を散策し、環境把握する。		就業体験事 前・事後学 習	・各教室や 学校の周辺 などを確認 する。
	4	・実習先や校内実習について確認する。		1学期を振り 返って	・日程や活 動内容を確 認する。
1	・1学期の振り返りを行う。	・実習のし おりに使っ て、実習の 振り返りを する。	・1学期を 振り返りな がら、楽し かった事等 を発表する。		
2学期	2	・見通しを持って2学期をスタートする。	<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ①主体的に授業に参加できる。 ②仲間と協力して活動できる。	2学期の活動 計画	・2学期の 行事確認を する。
	8	・運動会に向けての準備、活動をする。		運動会	・運動会の 練習、準備 など。
	3	・修学旅行に向けて。		修学旅行	・修学旅行 に向けて事 前学習を行 う。
	2	・2学期の振り返りを行う。		2学期の振り 返り	・2学期を 振り返る。
3学期	3	・見通しを持って3学期をスタートする。	③積極的に発表できる。	3学期の活動 計画	・3学期の 行事確認を する。
	3	・高校生活3年間を振り返る。		1年の振り 返り	・アルバム 整理や一年 を振り返り 、思い出を 発表する。
	2	・卒業後の心構えを考える。		卒業に向け て清掃	・高校生活 3年間を振 り返り、卒 業後の抱負 を発表する。
随時		・学級の清掃を行う。		・清掃	・掃除機や 机拭き、モ ップなどを 行う。